



Passat GTE Passat GTE Variant クイックユーザーガイド

初めに本書をお読みください



Passat GTE、Passat GTE Variant に関する資料

本書



クイックユーザーガイド

基本的な運転方法、装備の使用方法などをわかりやすく説明しています。

ご使用にあたっての注意、警告に関する内容は、「取扱説明書」をお読みください。

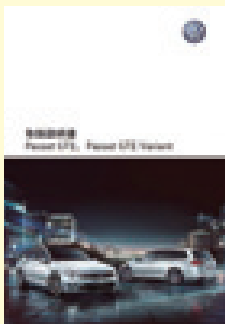
モデル、グレード、オプションなどにより、装備が異なる場合があります。

QRコードについて

本書内で QR コードが表示されている機能は、動画で機能の説明を確認することができます。

QR コード対応の携帯電話から QR コードを読み取ると、各機能の動画による説明が閲覧できます。

動画の閲覧には別途、通信料が発生します。パケット定額サービスなどの料金制度に加入されていない場合、パケット通信料が高額となりますので予めご注意ください。



取扱説明書

装備の詳細な使い方や、使用上の注意などについて記載しています。

本書と合わせて必ずお読みください。

Passat GTE Passat GTE Variant クイックユーザーガイド

目 次

運転の前に

運 転

便利な機能

クイックユーザーガイド 目次

目次

外観 Passat GTE	4
外観 Passat GTE Variant	8
内装	12

1. 運転の前に 16

高電圧バッテリーを充電する	16
普通充電	16
運転準備	22
リモコンキー	22
スマートエントリー&スタートシステム “Keyless Access”	23
ドア	24
シートの調整	25
センターアームレストの調整	27
ステアリングホイールの調整	28
ミラーの調整	29
シートベルト	32

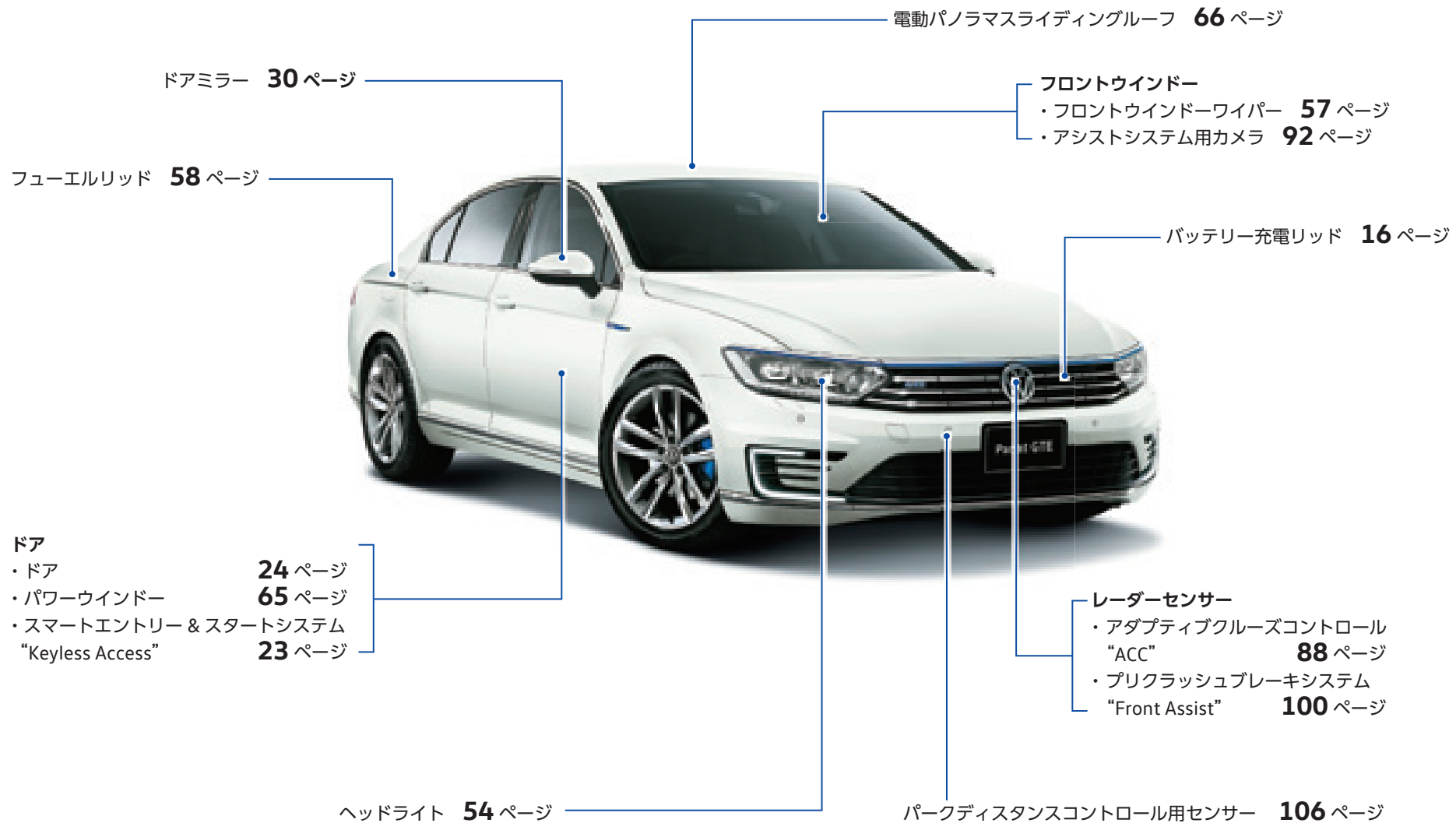
2. 運転 34

運転する	34
コンビネーションメーター	34
警告灯および表示灯	38
ディスプレイ表示 / 情報プロファイル表示	42
始動・停止	45
シフト操作	46
走行モードの種類	48
回生ブレーキ	51
パーキングブレーキ	53
ライト	54
方向指示器	56
非常点滅表示灯	56
ウインドーワイパー、ウォッシャー	57
燃料の給油	58

3. 便利な機能 60

室内装備	60
フルオートエアコンディショナー	60
シートヒーター	64
パワーウィンドー	65
電動パノラマスライディングルーフ	66
チャイルドシート	68
エアバッグ	69
ルームランプ、リーディングランプ	70
12V ソケット	70
マッサージ機能	72
メモリーシート	73
荷物の積載	74
ラゲージルーム	74
運転支援	80
インフォテイメントシステム	80
ドライビングプロファイル	84
ヘッドアップディスプレイ	86
アダプティブクルーズコントロール “ACC”	88
レーンキープアシストシステム “Lane Assist”	92
渋滞時追従支援システム “Traffic Assist”	95
レーンチェンジアシスト “Side Assist Plus”	96
リヤトラフィックアラート（後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能）	97
ドライバー疲労検知システム “Fatigue Detection System”	98
プリクラッシュブレーキシステム “Front Assist” （歩行者検知対応シティエマージェンシーブレーキ機能付）	100
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）	102
プロアクティブ・オキュパント・プロテクション	103
タイヤモニタリングシステム	104
パークディスタンスコントロール	106
リヤビューカメラ “Rear Assist”	108
アラウンドビューカメラ “Area View”	109
駐車支援システム “Park Assist”	112

外観 Passat GTE



リヤウインドー

・リヤウインドーヒーター **60** ページ、**62** ページ

・トランクリッドオープナー
74 ページ

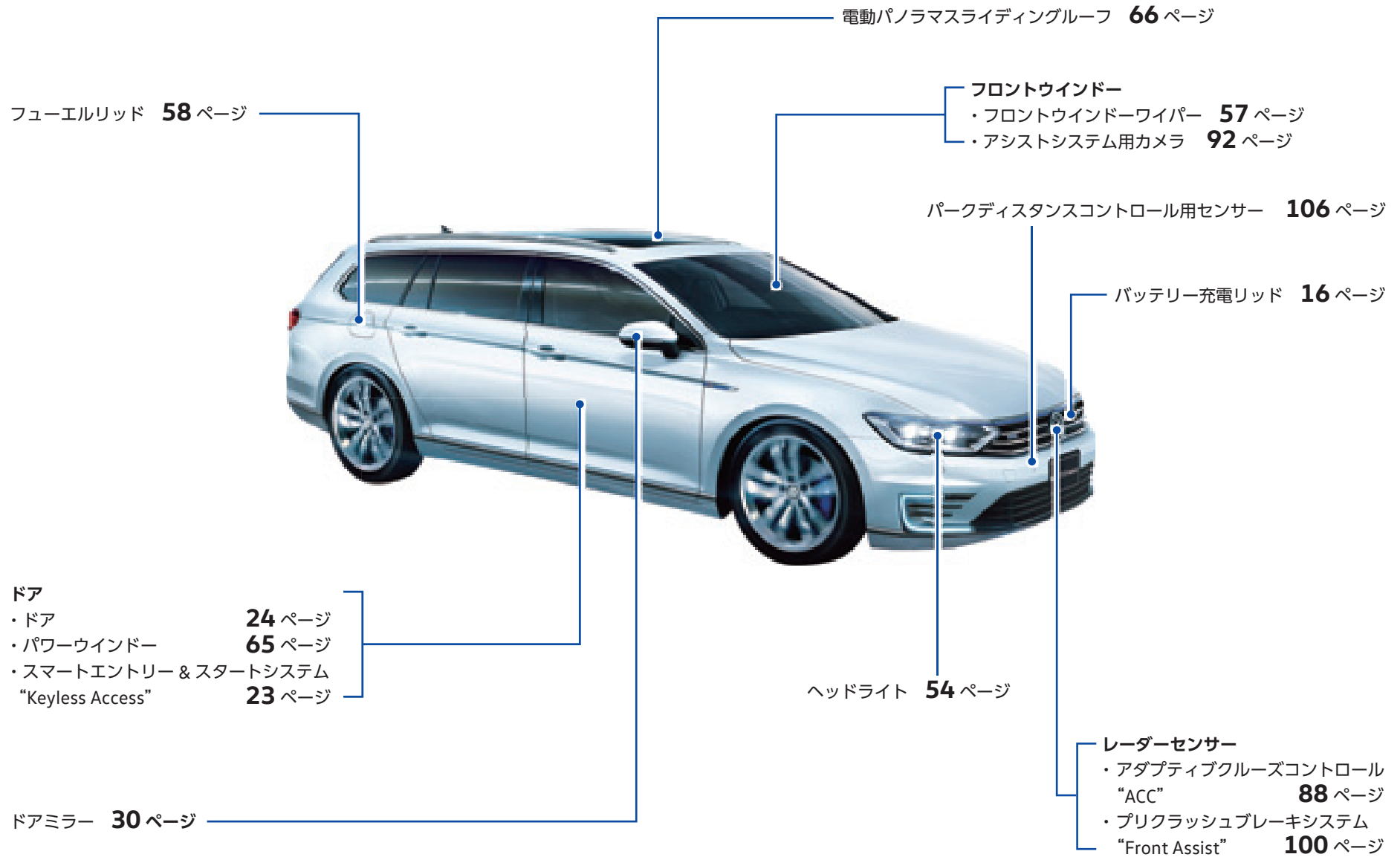
・リヤビューカメラ
“Rear Assist” **108** ページ



パークディスタンスコントロール用センサー **106** ページ

テールライト **54** ページ

外観 Passat GTE Variant

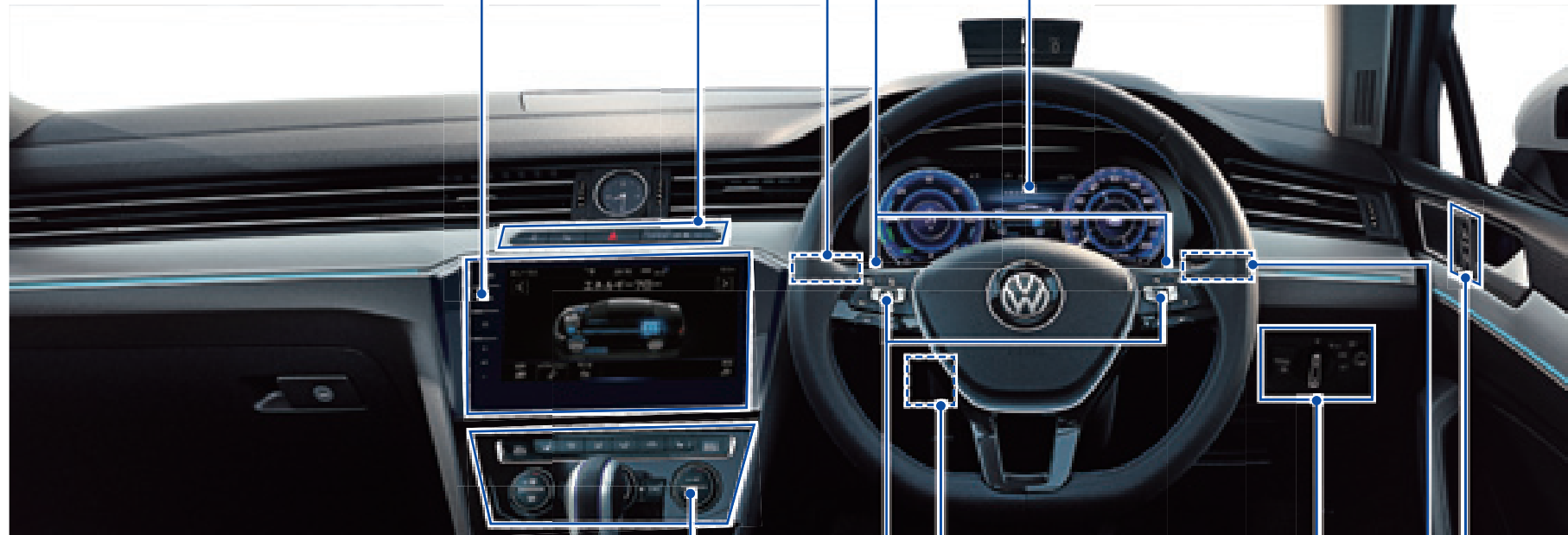




内装

- ・助手席エアバッグカットオフスイッチ警告灯 **69** ページ
- ・非常点滅表示灯 ON/OFF ボタン **56** ページ
- ・駐車支援システム “Park Assist” ボタン **112** ページ
- ・パークディスタンスコントロールボタン **106** ページ
- ・アラウンドビューカメラ “Area View” ボタン **109** ページ

インフォテインメントシステム **80** ページ



- ・フルオートエアコンディショナー **60** ページ
- ・シートヒータースイッチ **64** ページ

マルチファンクションステアリングホイール

- ・ディスプレイ表示 / 情報プロフィール表示 **42** ページ
- ・アダプティブクルーズコントロール “ACC” **88** ページ

レバー

- ・ヘッドライト **54** ページ
- ・方向指示器 **56** ページ
- ・ドライバーアシストシステム用ボタン **42** ページ

パドルシフト **47** ページ

コンビネーションメーター **34** ページ

ステアリングホイール
調整レバー **28** ページ

- ・ライトスイッチ **54** ページ
- ・ヘッドアップディスプレイ
コントローラー **86** ページ

レバー

- ・ウインドーワイパー・ウォッシャー **57** ページ

センターロッキングスイッチ **24** ページ

- ・リヤセンターアームレスト **27** ページ
- ・ロードスルー / トランクスルー **79** ページ

リヤシートベルト **33** ページ



12V ソケット **70** ページ

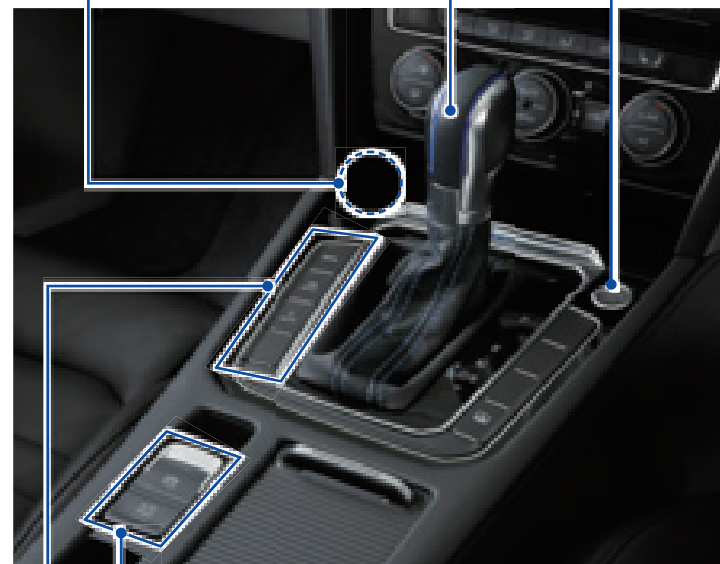
リヤシート

- ・分割可倒式リヤシート **77** ページ
- ・ヘッドレスト **26** ページ
- ・ISOFIX チャイルドシート **68** ページ

エンジンスタート / ストップボタン **45** ページ

セレクターレバー **46** ページ

12V ソケット **70** ページ



- ・パーキングブレーキボタン **53** ページ
- ・オートホールドボタン **53** ページ

- ・ドライビングプロファイル機能ボタン **84** ページ
- ・Eモードボタン **50** ページ
- ・GTEモードボタン **50** ページ

運転の前に

高電圧バッテリーを充電する

普通充電

高電圧バッテリーは交流 200V 電源につないで普通充電します。即時充電だけでなく、タイマー機能で充電時間を設定する予約充電も可能です。

充電ポートはラジエーターグリルの VW エンブレム横にあります。

充電前に、下記の状態になっていることを確認してください。

- ・イグニッションスイッチが“OFF”
- ・セレクターレバーが“P”
- ・パーキングブレーキがかかっている

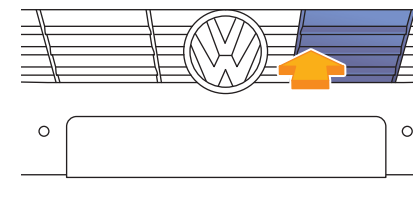
アドバイス

CHAdemo 方式などの急速充電には対応していません。

操作手順

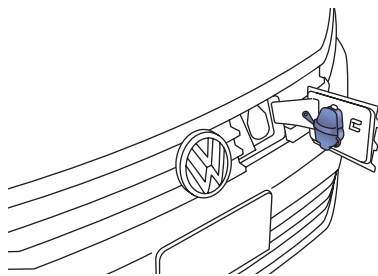
- 1 キー、またはセンターロックスイッチで車両を解錠します。
- 2 バッテリー充電リッドを開きます。

バッテリー充電リッド（ラジエーターグリルの VW エンブレム横）の左側を押すと右側に開きます。



QM4001

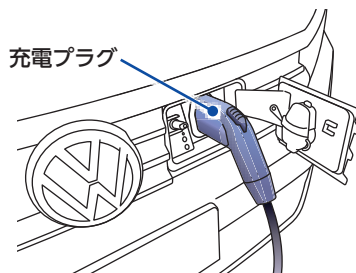
3 充電ポート保護キャップをバッテリー充電リッド内側のタブに掛けます。



QM4002

4 充電プラグを充電ポートに差し込みます。

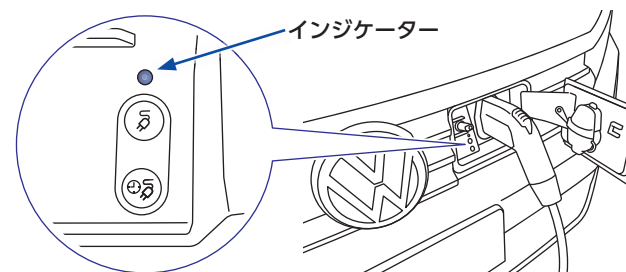
「カチッ」と音がするまで差し込みます。



QM4003

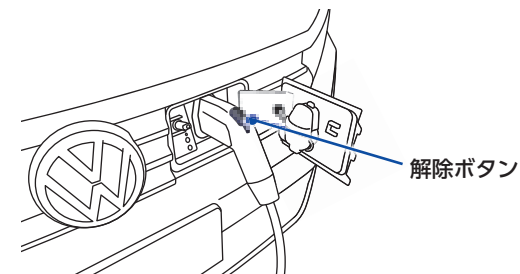
5 インジケータの表示を確認します。

インジケータ	状態
黄色で点灯	充電プラグが充電ポートに差し込まれています。 電源が供給されていない場合は、そのまま点灯し続けます。
緑色で光度を変えながら点灯	充電中
緑色で点滅	予約充電待機中
緑色で完全に点灯	充電完了



QM4004

6 解除ボタンを押して、充電プラグを取り外します。



QM4005

7 バッテリー充電リッドを閉じます。

充電レベルの確認

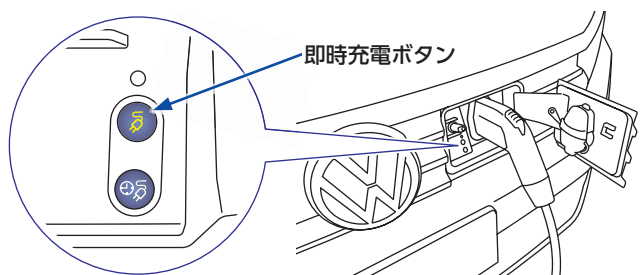
コンビネーションメーターで充電レベルと残りの充電時間を確認することができます。

即時充電

即時充電ボタンが点灯しているとき（予約充電の設定をしていない場合）に充電プラグを充電ポートに差し込むと即時充電が開始されます。

充電中でも、即時充電ボタンを押すと、充電を中断できます。

予約充電の設定をしている場合に即時充電をする時は、即時充電ボタンを押します。予約充電に戻す時は予約充電ボタンを押します。



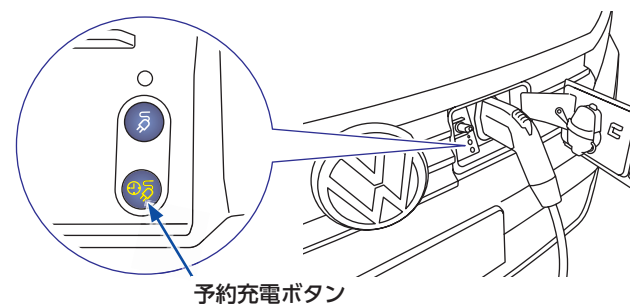
QM4006

予約充電

予約充電のタイマー機能を使い、夜間の電気料金が安い時間帯に充電することで、充電に要する電気代を抑えることができます。電気料金については、各電力会社にご確認ください。

予約充電の設定は、インフォテインメントシステム、または“Volkswagen Car-Net e-Remote”で行います。

予約充電の設定をしている場合は、予約充電ボタンが点灯しています。充電プラグを充電ポートに差し込むと予約充電が開始し、設定に応じて充電されます。



QM4007

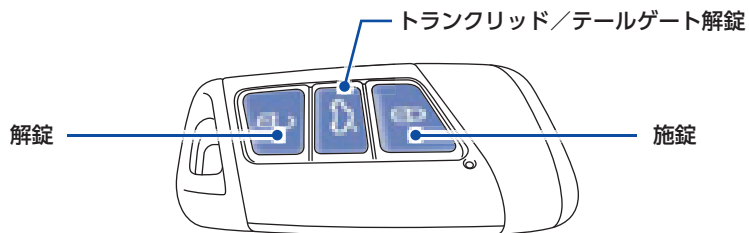
アドバイス

予約充電の設定は後で行うこともできます。その場合は、充電プラグを充電ポートに差し込み、即時充電ボタンを押して、充電中断状態（インジケーターが黄色で点灯）にしてください。予約充電の設定を完了すると、自動的に予約充電状態に切り替わります。

運転準備

リモコンキー

リモコンキーを使って、車から離れたところからドアとトランクリッド／テールゲートを施錠、解錠することができます。



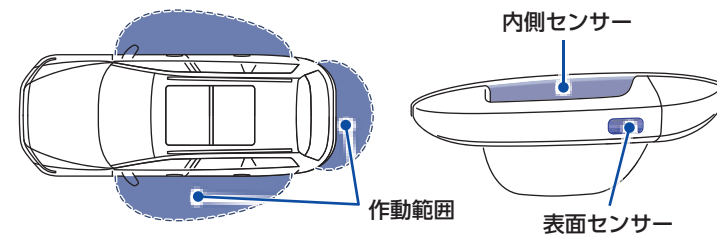
QM1014

- 施錠ボタン…………… すべてのドアおよびトランクリッド／テールゲートを施錠します。
- 解錠ボタン…………… すべてのドアおよびトランクリッド／テールゲートを解錠します。
- トランクリッド／テールゲート解錠ボタン…………… トランクリッド／テールゲートのみ解錠します。

解錠後、数十秒ドアやトランクリッド／テールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。

スマートエントリー&スタートシステム “Keyless Access”

キーが作動範囲にあるとき、運転席または助手席ドアハンドルのセンサー部分に触れると、ドアとトランクリッド／テールゲートを施錠、解錠することができます。



QM1001

- 表面センサー…………… 触れると、全てのドアおよびトランクリッド／テールゲートが施錠します。
- 内側センサー…………… 触れると、全てのドアおよびトランクリッド／テールゲートが解錠します。

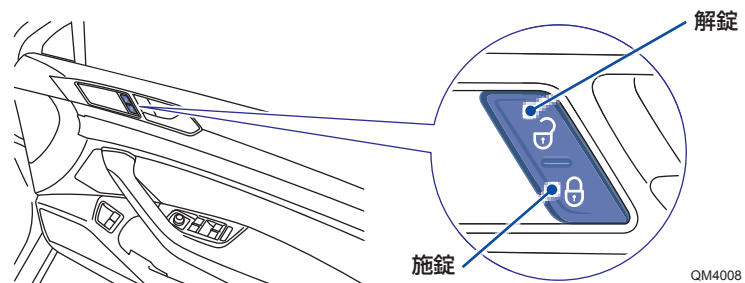
解錠後、数十秒ドアやトランクリッド／テールゲートが開かれない場合、自動的に施錠します。

キーを車内に残した状態でドアハンドル表面のセンサーに触れると、方向指示器が4回点滅し、ドアを施錠することができません。

ドア

センターロッキング

車内からは、運転席のドアについているセンターロッキングスイッチで施錠、解錠することができます。

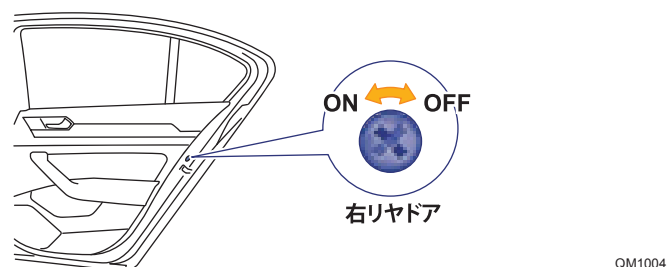
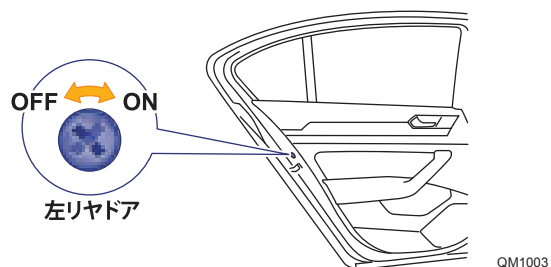


自動施錠 (オートロック)

15km/h以上で走行すると、自動的に施錠されます。この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

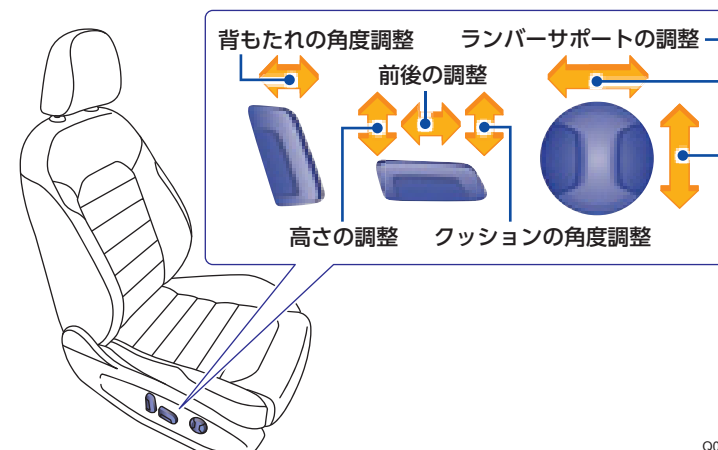
チャイルドプルーフロック

お子様などが誤ってドアを開けないようにする機能です。ONになっているときは、リヤドアを車内から開けることができません。ON/OFFを切り替えるには、キーを差し込んで回します。



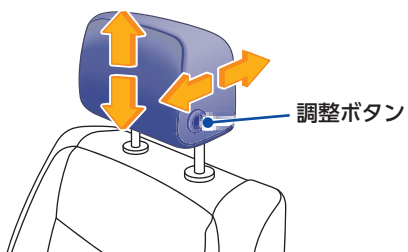
シートの調整

シートの高さ、シートの前後、クッションの角度、背もたれの角度、ランバーサポートのカーブ、ランバーサポートの高さを調整することができます。



ヘッドレストの高さ、前後位置調整 (フロントシート)

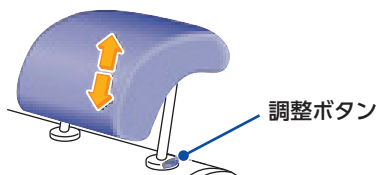
高さ前後位置を調整することができます。
そのまま引き上げる、または前に動かします。
下げる、または後ろに動かす場合は調整ボタンを押しながら動かしてください。



QM1015

ヘッドレストの高さ調整 (リヤシート)

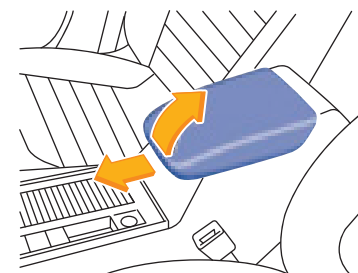
高さを調整することができます。
そのまま引き上げます。下げる場合は調整ボタンを押しながら、下げてください。



センターアームレストの調整

フロントセンターアームレスト

角度および前後位置を調整することができます。
上げるときは、先端を持ち上げます。
下げるときは、いったん上まで引き上げてから下げます。
前後位置を調整するときは、前方または後方にロックするまで動かします。



Q0010

リヤセンターアームレスト

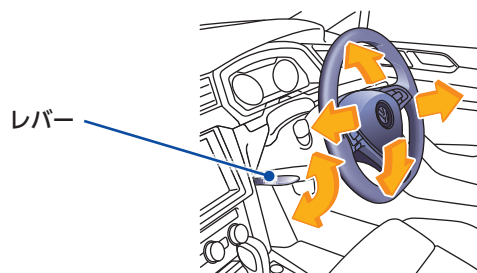
バンドを引いて、前に倒して使います。



QM1006

ステアリングホイールの調整

ステアリングホイールの高さ、前後位置を調整することができます。



QM8040

操作 手順

- 1 レバーを下げます。
- 2 ステアリングホイールを前後または上下に動かして、位置を調整します。
- 3 調整した位置を保持し、レバーを上げて固定します。

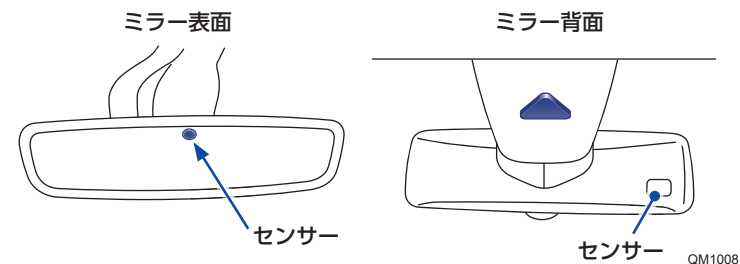
ミラーの調整

自動防眩ルームミラーの調整

リヤウインドーを通して後方の視界が確認できるように、ルームミラーの基本位置を調整してください。

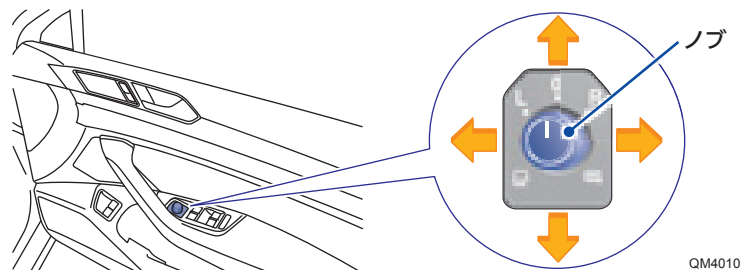
センサーにより周囲の明るさを検知し、後続車のヘッドライトがまぶしいときは自動的に明るさを抑えます。

セレクターレバーが“R”の位置にある時は、自動防眩機能は作動しません。



ドアミラーの調整

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブで調整できます。




操作手順

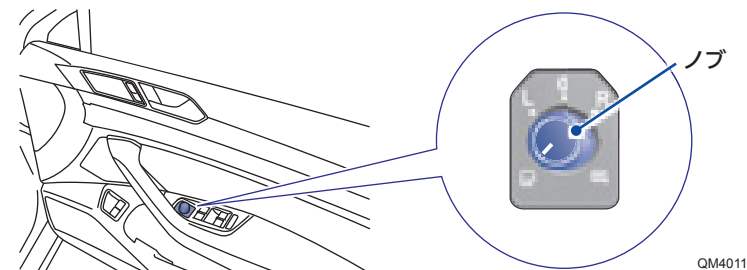
- 1 ノブを回して、“R”（運転席側）または“L”（助手席側）に合わせます。
- 2 ノブを前後、左右に動かして、ドアミラーを調整します。
- 3 ドアミラーの角度を調整した後、ノブを回して、“0”に合わせます。

アドバイス

運転席側を調整すると、助手席側も同時に調整されます。助手席側を調整する場合は、先に運転席側を調整してください。
この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。


ドアミラーの格納

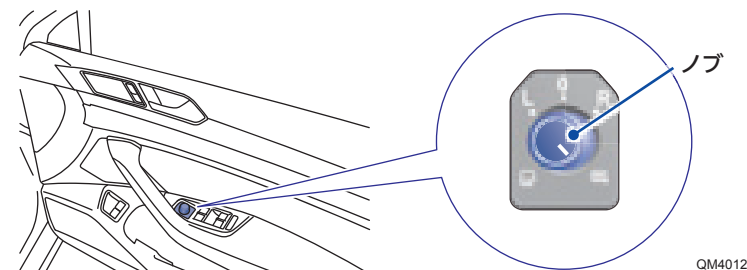
運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブをに合わせると、自動的に格納されます。他の位置にすると復帰します。



車両をリモコンキー、またはスマートエントリー&スタートシステム“Keyless Access”で施錠することでも自動的に格納されます（イグニッションスイッチを“ON”にすると復帰）。この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

ドアミラーヒーター

運転席のドアについているドアミラー用回転式ノブをに合わせると、外気温度が20℃以下の場合にドアミラーヒーターが作動します。



アドバイス

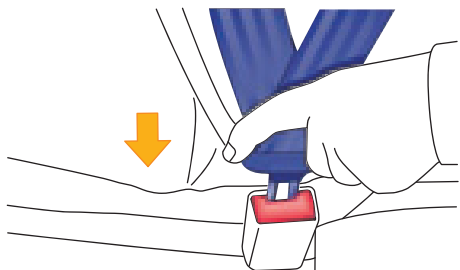
ドアミラーヒーターを使用しないときは、スイッチを“0”（OFF）にしてください。

シートベルト

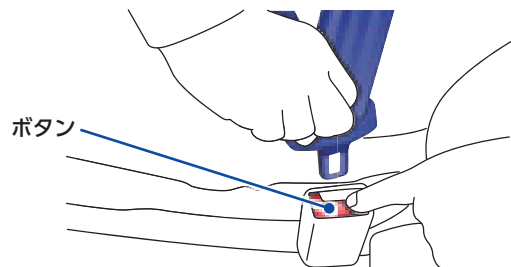
全席に3点式シートベルトが装備されています。

シートベルトの取り付け、取り外し

バックルに差し込むと自動的に固定されます。

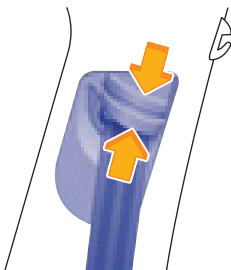


バックルのボタンを押すと外れます。



シートベルトの高さ調整 (フロントシート)

ベルトガイドをつまんで高さを調整してください。



Q0018

シートベルト警告灯

運転席、助手席の乗員がシートベルトを着用せずに 25km/h 以上で走行すると、コンビネーションメーター内の警告灯が点滅し、警告音が鳴ります。

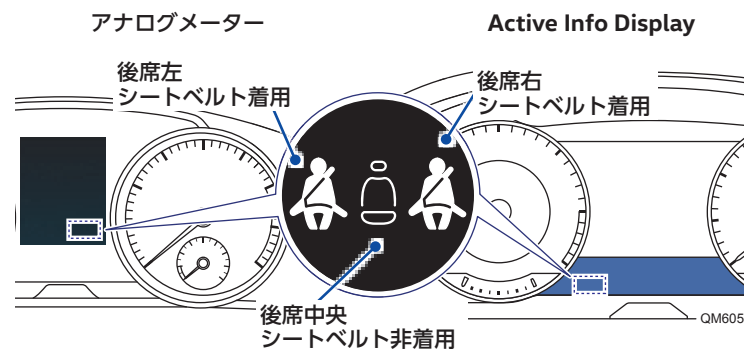


助手席の上に物が置いてある場合も、乗員がいると判断し、警告灯が点灯します。

助手席に置いてある物を別の場所に置き直すか、シートベルトで固定してください。

後席シートベルト着用表示

イグニッションスイッチを ON にしたあと、後部座席でシートベルトが着用されているかどうか、コンビネーションメーターのディスプレイに表示されます。

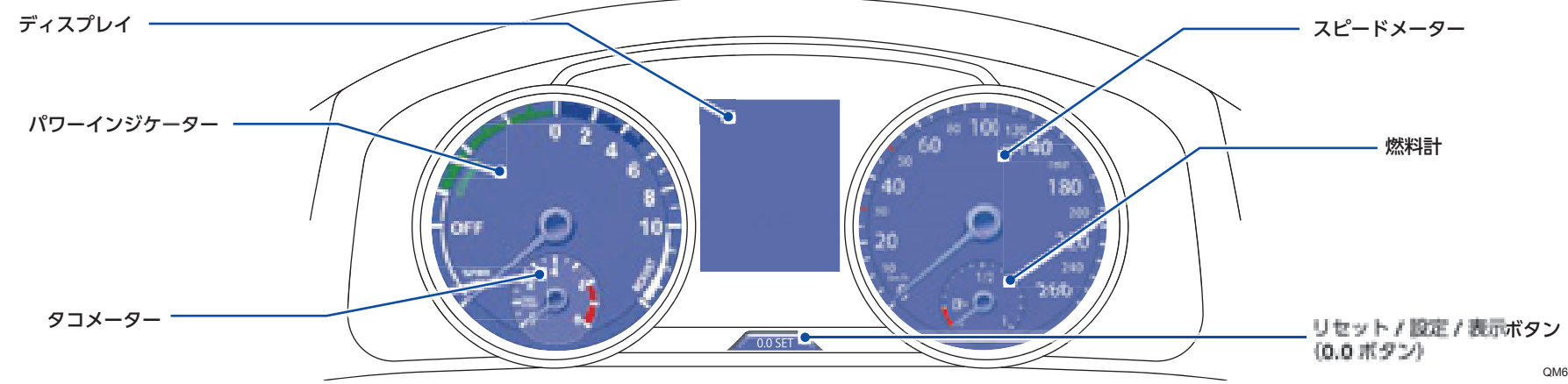


走行中に後席シートベルトが外された場合、この後席シートベルト着用表示が点滅します。車速が 25km/h を超えるとさらに警告音が鳴ります。

運転

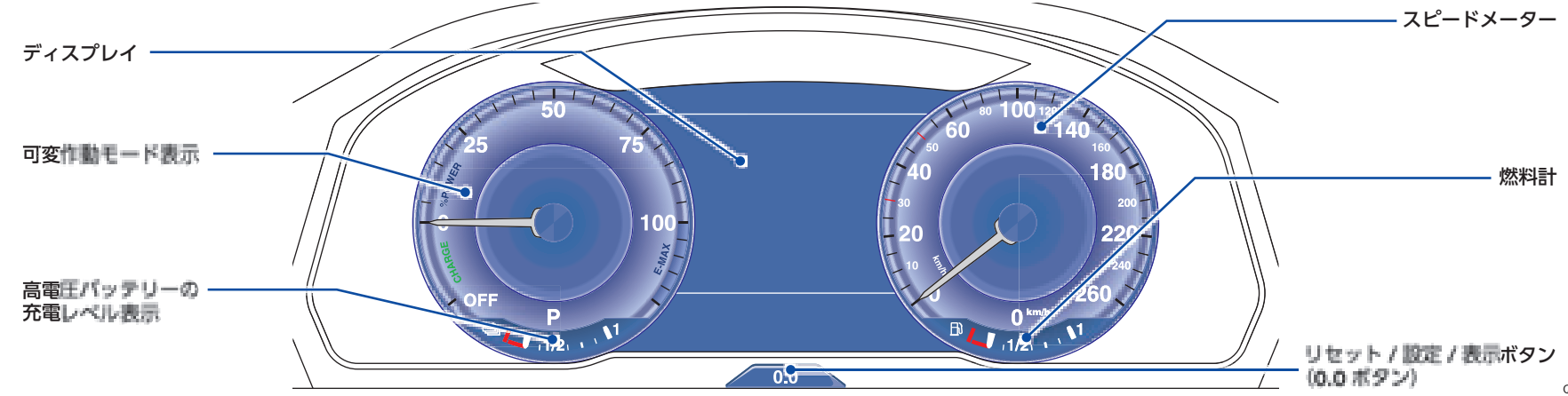
運転する コンビネーションメーター

アナログメーター



QM6054

デジタルメータークラスター “Active Info Display”



QM4015

時計の設定方法

操作 手順

- ① すべてのドアを閉めます。
- ② ディスプレイに「時間」と表示されるまで **0.0** ボタンを押し続けます。
- ③ 時表示がハイライトされますので、時を変更する場合は **0.0** ボタンを押して正しい時を設定してください。
- ④ 分表示がハイライトされるまで待ちます。分を変更する場合は **0.0** ボタンを押して正しい分を設定してください。
- ⑤ **0.0** ボタンから手を離れたまま待つと、ハイライト表示が終了し設定が完了します。

時計はインフォテインメントシステムでも設定することができます。

走行距離表示

トリップメーターは、前回リセット以降の走行距離を表示します。
0.0 ボタンを短く押すと、トリップメーターがリセットされます。

電気モーターによる走行可能距離とトリップメーターの表示切替方法

操作 手順

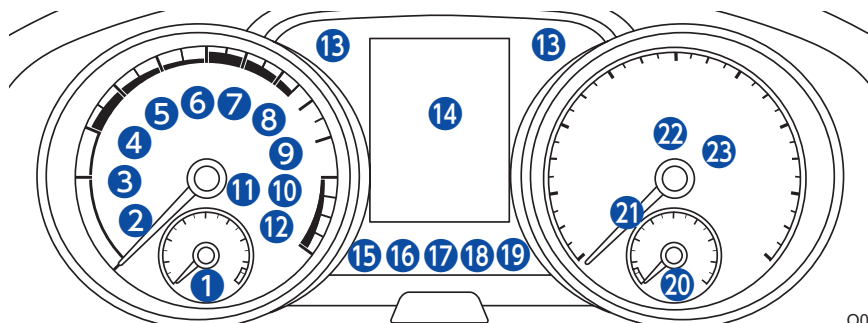
- ① ディスプレイに「EV 走行可能距離とトリップの切替」と表示されるまで **0.0** ボタンを押し続けます。
- ② 「EV 走行可能距離に切り替えますか？」または「トリップに切り替えますか？」と表示されますので、切り替える場合は再度 **0.0** ボタンを押してください。
- ③ 「EV 走行可能距離に切り替えました」または「トリップに切り替えました」と表示され、切り替えが完了します。

可変作動モード表示

左側の丸型メーターは、選択している作動モードにより表示が異なります。表示は、「E モード」、「GTE モード」、「標準ハイブリッド」の3種類があり、図は例としてEモード選択時を示しています。表示の詳細は、取扱説明書に記載されています。

警告灯および表示灯

アナログメーター

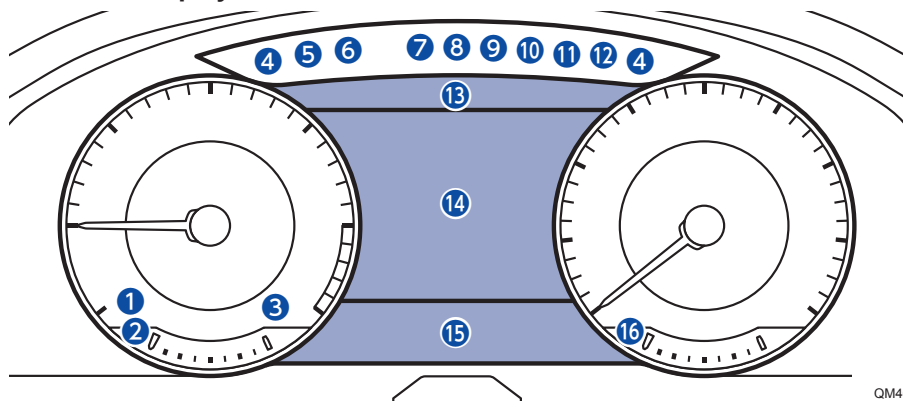


Q0222

位置	シンボル	意味
1		点灯：高電圧バッテリー充電レベル低 点滅：高電圧バッテリー充電中
2		エアバッグ / シートベルトテンショナーシステム故障
3		前席シートベルト非着用
4		タイヤ空気圧低下、タイヤ空気圧モニタリングシステム故障
5		点灯：電動パワーステアリング故障 点滅：電動ステアリングコラムロック故障
5		点灯：電動パワーステアリング機能低下、バッテリー再接続 点滅：ステアリングコラムロック解除不可 / ロック不可
6		エンジン制御システム故障
7		点灯：排気ガス浄化システム故障 点滅：エンジン失火による触媒コンバーター損傷
8		点灯：ESC 故障、12V バッテリー再接続 点滅：ESC 作動中
9		ABS 故障、回生システム故障
10		ブレーキシステム故障、ブレーキ液量少
11		ASR OFF
12		ハイビーム点灯
13		方向指示器 / 非常点滅表示灯作動中
14		エンジン冷却システム故障、冷却水量少、冷却水高温 高電圧冷却システム故障、冷却水量少、冷却水高温
14		エンジンオイル油圧低下
14		ハイブリッドシステム故障
14		ハイブリッドシステム故障
14		プリクラッシュブレーキシステム接近警告
14		12V エネルギースystem故障
14		12V エネルギースystem故障
14		エレクトロニックパーキングブレーキ故障

位置	シンボル	意味
14		ライトのバルブ切れ
14		エンジン回転数制限
14		ウインドーウォッシャー液量少
14		点灯：エンジンオイル量少 点滅：エンジンオイルシステム故障
14		燃料タンクのキャップが正しく閉められていない
14		アダプティブクルーズコントロール (ACC) 作動停止
14		プリクラッシュブレーキシステム OFF
14		トランスミッション故障
14		アダプティブシフターコントロール (DCC) 故障
14		ドア / テールゲート / ボンネットが開いています
14		後席シートベルト非着用
14		後席シートベルト着用
14		アダプティブクルーズコントロール (ACC) 先行車未検知
14		白色表示：アダプティブクルーズコントロール (ACC) 先行車検知 灰色表示：アダプティブクルーズコントロール (ACC) 非作動
14		サービスリマインダー、点検時期
14		外気温度 4℃以下
14		充電プラグ接続中
14		E モード使用不可
14		作動モード、高電圧バッテリー充電レベル
14		取扱説明書を確認してください
15		走行可能状態
16		エレクトロニックパーキングブレーキ作動中
16		オートホールド作動中
17		ディスプレイの表示を確認してください
17		ディスプレイの表示を確認してください
18		点灯：クルーズコントロールシステム (CCS) / スピードリミッター ON、アダプティブクルーズコントロール (ACC) 作動中 点滅：スピードリミッター設定速度超過
19		レーンキープアシストシステム待機
19		レーンキープアシストシステム作動中
20		燃料残量少
21		ブレーキパッド摩耗
22		リヤフォグランプ点灯
23		ブレーキペダルを踏んでください
23		点灯：ブレーキペダルを踏んでください 点滅：セレクトレバーのロックボタンを押してください

Active Info Display



QM4016

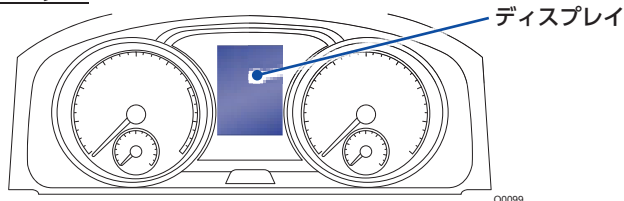
位置	シンボル	意味
1		走行可能状態
2		高電圧バッテリー充電レベル
3		作動モード
4		方向指示器 / 非常点滅表示灯作動中
5		エアバッグ / シートベルトテンショナーシステム故障
6		点灯：電動パワーステアリング故障 点滅：電動ステアリングコラムロック故障
6		点灯：電動パワーステアリング機能低下、バッテリー再接続 点滅：ステアリングコラムロック解除不可 / ロック不可
7		エレクトロニックパーキングブレーキ作動中
7		オートホールド作動中
8		ディスプレイの表示を確認してください
8		ディスプレイの表示を確認してください
9		点灯：排気ガス浄化システム故障 点滅：エンジン失火による触媒コンバーター損傷
10		点灯：ESC 故障、12V バッテリー再接続 点滅：ESC 作動中
11		ABS 故障、回生システム故障
12		ブレーキシステム故障、ブレーキ液量少
13		外気温度 4℃以下
13		E モード使用不可
14		エンジン冷却システム故障、冷却水量少、冷却水高温 高電圧冷却システム故障、冷却水量少、冷却水高温
14		エンジンオイル油圧低下
14		ハイブリッドシステム故障
14		ハイブリッドシステム故障
14		ブレーキパッドを踏んでください
14		点灯：ブレーキペダルを踏んでください 点滅：セレクターレバーのロックボタンを押してください
14		燃料残量少

位置	シンボル	意味
14		12V エネルギーシステム故障
14		12V エネルギーシステム故障
14		エレクトロニックパーキングブレーキ故障
14		ライトのバルブ切れ
14		エンジン回転数制限
14		ウインドーウォッシャー液量少
14		点灯：エンジンオイル量少 点滅：エンジンオイルシステム故障
14		燃料タンクのキャップが正しく閉められていない
14		トランスミッション故障
14		アダプティブシャシーコントロール (DCC) 故障
14		ドア / テールゲート / ボンネットが開いています
14		アダプティブクルーズコントロール (ACC) 作動
15		スピードリミッター作動
14		サービスリマインダー、点検時期
14		充電プラグ接続中
14		取扱説明書を確認してください
15		前席シートベルト非着用
15		タイヤ空気圧低下、タイヤ空気圧モニタリングシステム故障
15		エンジン制御システム故障
15		ASR OFF
15		ハイビーム点灯
15		ブリクラッシュブレーキシステム OFF
15		後席シートベルト非着用
15		後席シートベルト着用
15		アダプティブクルーズコントロール (ACC) 作動中先行車未検知
15		アダプティブクルーズコントロール (ACC) 作動中先行車検知
15		レーンキープアシストシステム待機
15		レーンキープアシストシステム作動中
15		ブレーキパッド摩耗
15		リヤフォグランプ点灯
15		ブレーキペダルを踏んでください
15		点灯：ブレーキペダルを踏んでください 点滅：セレクターレバーのロックボタンを押してください
16		燃料残量少

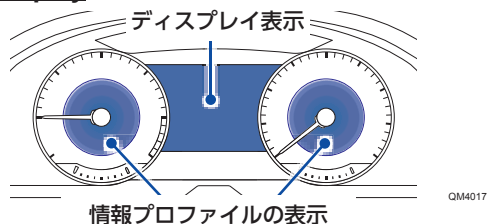
ディスプレイ表示 / 情報プロフィール表示

コンビネーションメーターのディスプレイで様々なドライビングデータを確認することができます。

アナログメーター

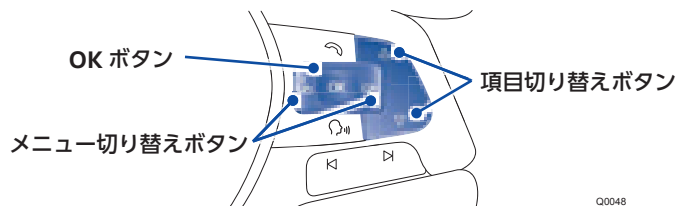


Active Info Display



マルチファンクションステアリングホイールでの操作

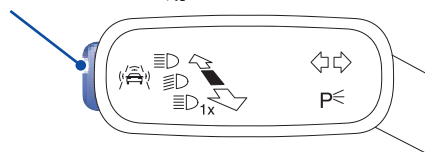
ディスプレイ表示 / 情報プロフィール表示は、マルチファンクションステアリングホイール右側のボタンで操作します。



ドライバーアシストシステム用ボタン

ステアリングホイール左側の方向指示器レバーについているボタンでアシストシステムのメニューを呼び出すことができます。

ドライバーアシストシステム用ボタン



メニューと表示項目

メニュー	項目
ハイブリッド	エネルギーフローと高電圧バッテリーの充電レベルを表示します。
走行データ	燃費 現在の燃費と電費を表示します。
	燃費 ※ 平均燃費と平均電費を表示します。 イグニッションスイッチを ON にしてから 300m 走行後に表示されます。
	総走行可能距離 現在の高電圧バッテリー充電レベルと残りの燃料で走行可能な距離を表示します。
	走行時間 ※ イグニッションスイッチを ON にしてからの経過時間を表示します。
	走行距離 ※ イグニッションスイッチを ON にしてからの走行距離を表示します。
	平均速度 ※ 平均車速を表示します。 イグニッションスイッチを ON にしてから 100m 走行後に表示されます。
車速 現在の車速を表示します。	
警告速度 警告速度の設定をすることができます。	
油温 エンジンオイル温度を表示します。	
アシストシステム	以下の ON/OFF を切り替えることができます。 ・レーンキープアシストシステム (Lane Assist) ・レーンチェンジアシストシステム (Side Assist) ・リヤトラフィックアラート (後退支援) ・フロントアシスト (Front Assist) ACC および Lane Assist の作動状態を表示します。
ナビゲーション	オーディオ / ナビゲーションシステムの取扱説明書を参照してください。
オーディオ	
電話	
車両ステータス	警告 / 情報テキストを表示します。

メニュー	項目
情報プロファイル表示 (Active Info Display のみ)	クラシック 左右丸型メーター共に従来のコンビネーションメーターと同様の表示になります。
	燃費&走行可能距離 左側丸型メーター：現在の燃費がグラフィック表示、および平均燃費がデジタル表示されます。 右側丸型メーター：走行距離がデジタル表示されます。
	効率 左側丸型メーター：現在の燃費がグラフィック表示、および平均燃費がデジタル表示されます。 右側丸型メーター：エミッションフリー走行した距離がパーセント表示されます。
	ナビゲーション 左側丸型メーター：ルート案内が作動している場合は目的地までの残存距離および到着時刻が表示され、ルート案内が作動していない場合は海拔が表示されます。 右側丸型メーター：ルート案内が作動している場合は矢印ナビが表示され、ルート案内が作動していない場合はコンパスが表示されません。
	ドライバーアシストシステム 左側丸型メーター：各種ドライバーアシストシステムがグラフィック表示される、または走行時間がデジタル表示されます。 右側丸型メーター：矢印ナビが表示される、またはコンパスが表示されます。

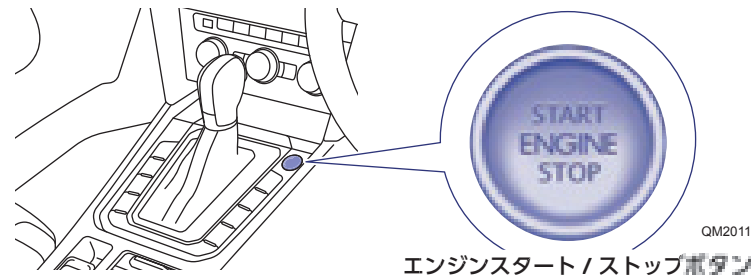
※：以下の3種類のメモリーがあり、OK ボタンで表示を切り替えることができます。

- スタート後・・・イグニッションスイッチを ON にしてから
のデータを表示します。イグニッションスイッチ OFF 後、約2時間経過するとリセットされます。
- 給油後・・・前回給油以降のデータを表示します。
給油するとリセットされます。
- 累計走行・・・累計走行データを表示します。積算での走行時間が20時間、もしくは100時間、または走行距離が2,000km、もしくは10,000kmに達する毎にリセットされます。
(仕様によって異なります)

始動・停止

エンジンスタート/ストップボタン

センターコンソールのエンジンスタート/ストップボタンで、始動(走行可能状態にする)、停止(走行可能状態を終了する)します。

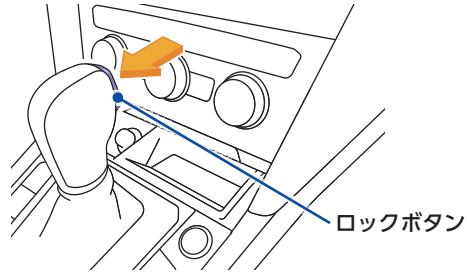


目的	操作
始動 (走行可能状態にする)	ブレーキペダルを踏んだまま、エンジンスタート/ストップボタンを短く押します。 走行可能状態になるとコンビネーションメーターの READY が点灯し、パワーインジケーターが“0”位置になります。 高電圧バッテリーの充電レベルによってはエンジンが始動します。
停止 (走行可能状態を終了する)	エンジンスタート/ストップボタンを短く押します。
イグニッションスイッチ ON/OFF の切り替え	ブレーキペダルを踏まずに、エンジンスタート/ストップボタンを短く押します。

シフト操作

セレクターレバーの操作

セレクターレバーを“P”の位置からシフトする場合は、ブレーキペダルを踏み、ロックボタンを押しながらシフトします。



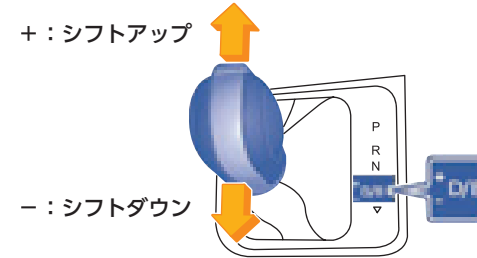
QM2012

“D”と“B”を切り替えるには、セレクターレバーを後方に引きます。セレクターレバーは自動的に元の位置に戻ります。

セレクターレバーの位置	働き
P	駐車、およびエンジンを始動するとき
R	後退させるとき
N	駆動力は伝達されません
D/B	通常走行（オートマチックモード） D：ノーマルプログラム B：大きいエネルギーの回生
▽	“D”と“B”を切り替えるとき
+ -	ティプトロニック（マニュアルモード）

ティプトロニック（マニュアルモード）

セレクターレバーを“D/B”の位置から左側に倒すとマニュアルモードになり、思いどおりの変速段を選択して運転することができます。“+”（前方に押す）でシフトアップ、“-”（後方に引く）でシフトダウンします。



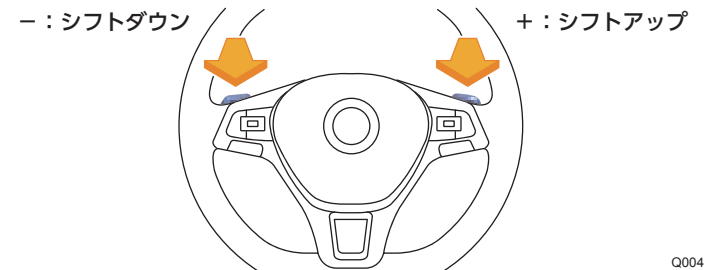
Q0225

オートマチックモードに戻すには、セレクターレバーを右側に戻してください。

パドルシフト

ティプトロニックのギヤシフトをステアリングホイールのパドルレバーで操作することができます。

右側のパドルレバー“+”を手前に引くとシフトアップ、左側のパドルレバー“-”を手前に引くとシフトダウンします。



Q0041

セレクターレバーが“D/B”の位置にあるときにパドルレバーを操作することで、マニュアルモードに切り替えることができます。オートマチックモードに戻すには、右側のパドルレバー“+”を約1秒間、手前に引いてください。

走行モードの種類

高電圧バッテリーの充電レベルや運転状況に応じて、以下の走行モードを任意に選択することができます。

Eモード

始動時は自動的にEモードが選択されます。
バッテリーの充電レベルが低くなると、自動的にハイブリッドモードに切り替わります。

バッテリーホールドモード

運転状況に応じてエンジンと電気モーターの最適な組み合わせを自動で選択し、高電圧バッテリーの充電レベルを保持します。

バッテリーチャージモード

エンジンで走行し、高電圧バッテリーを充電します。

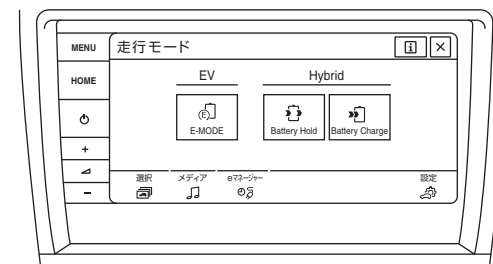
GTEモード

ダイナミックな走行性能が得られ、スポーティなドライビングスタイルを楽しむことができます。
アクセルペダルをいっばいに踏み込んでキックダウン操作をすると、エンジンと電気モーターの組み合わせで、最大のパワーを発生します。

インフォテインメントシステムによる切り替え

操作手順

- 1 セレクターレバー横のEモードボタンを押します。
- 2 ディスプレイで「Eモード (E-MODE)」、「バッテリーホールドモード (Battery Hold)」、「バッテリーチャージモード (Battery Charge)」が選択できます。

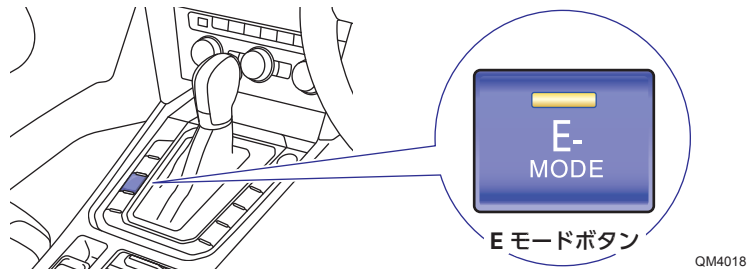


QM8105

Eモードボタンによる切り替え

セレクターレバー横のEモードボタンで「Eモード」、「バッテリーホールドモード」、「バッテリーチャージモード」を切り替えることができます。

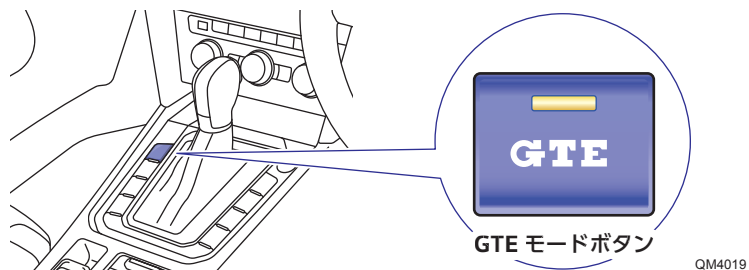
EモードがONの時はボタンの表示灯が黄色に点灯します。



GTEモードボタンによる切り替え

セレクターレバー横のGTEモードボタンで「GTEモード」のON/OFFを切り替えることができます。

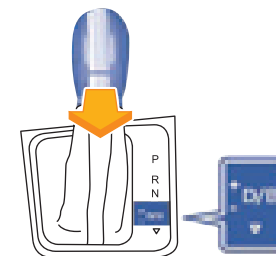
GTEモードがONの時はボタンの表示灯が黄色に点灯します。



回生ブレーキ

Passat GTE、Passat GTE Variantは、ブレーキエネルギーを回収し、電力として高電圧バッテリーに充電します。このとき電気モーターは発電機として働き、ブレーキ効果を生じさせます。

セレクターレバーを“D”の位置から後方に引いて“B”の位置にすると、エネルギーの回生レベルが大きくなり、大きなブレーキ効果が得られます。



“B”の位置から“D”の位置に戻すには、再びセレクターレバーを後方に引きます。

アドバイス

急な下り坂など強いブレーキを必要とするときに“B”の位置にしてください。

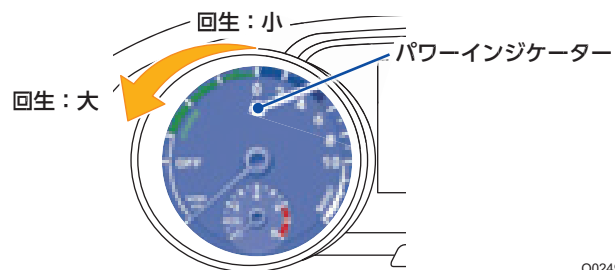
Eモード選択時は、ブレーキエネルギーの回生レベルに応じて、パワーインジケータの針が“0”から反時計回りに振れます。

Eモード以外のモード選択時は、ブレーキエネルギーの回生レベルに応じて、緑色のバーで表示されます。

緑色の CHARGE の下限が、回生ブレーキで得られる最大の制動力です。これより大きな制動力が必要な場合、ブレーキペダルを踏み込んで減速する必要があります。

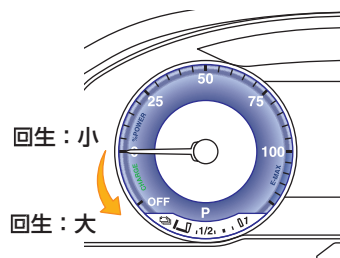
高電圧バッテリーが100%充電されている状態ではブレーキエネルギーを回生できません。制動力も発生しませんので、フットブレーキで減速してください。

アナログメーター



Q0249

Active Info Display



QM4020

図は例としてEモード選択時を示しています。表示の詳細は、取扱説明書に記載されています。

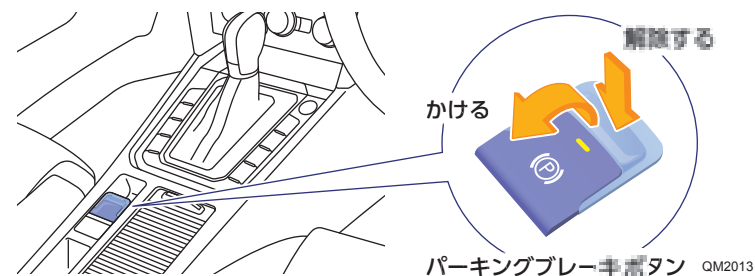
パーキングブレーキ

エレクトロニックパーキングブレーキ

パーキングブレーキをかけるには、ボタンを引きます。

パーキングブレーキを解除するには、イグニッションをONにしたあと、ブレーキペダルを踏みながらボタンを押します。

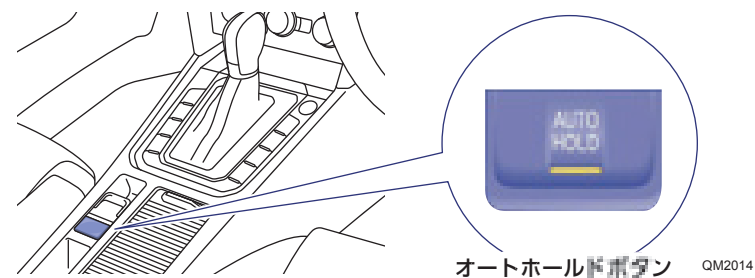
また、アクセルペダルを踏んで車両を発進させた場合も、パーキングブレーキは自動的に解除されます。



車両が動き出す可能性がある状態で運転席ドアを開けた時など、システムが不適切な駐車状態と判断した場合、パーキングブレーキが自動的に作動します。

オートホールド

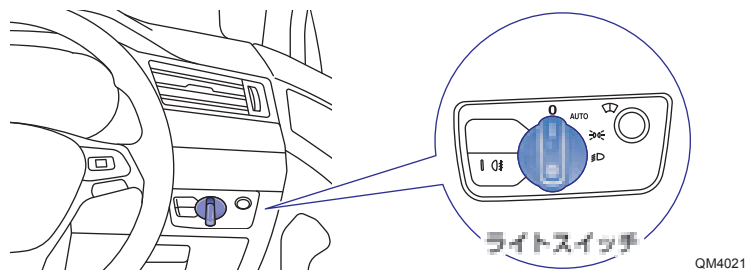
オートホールドをONにすると、停車後にブレーキペダルを放した時にパーキングブレーキが自動的に作動し、車両を停止状態で保持することができます。



ライト

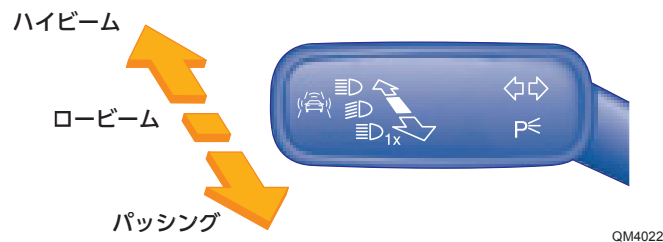
ヘッドライト

運転席右側のライトスイッチでヘッドライトを点灯します。



- 0** ……ヘッドライト消灯
- AUTO** ……周囲の明るさに応じて自動的に点灯または消灯
- ☾☽** ……スモールライト点灯
- ☾☽** ……ヘッドライト点灯（ロービーム）

ステアリングホイール左側のレバーを前方に押しとハイビーム、元の位置に戻すとロービームになります。レバーを手前に引いている間、ハイビームが点灯します。（パッシング）



ダイナミックライトアシスト

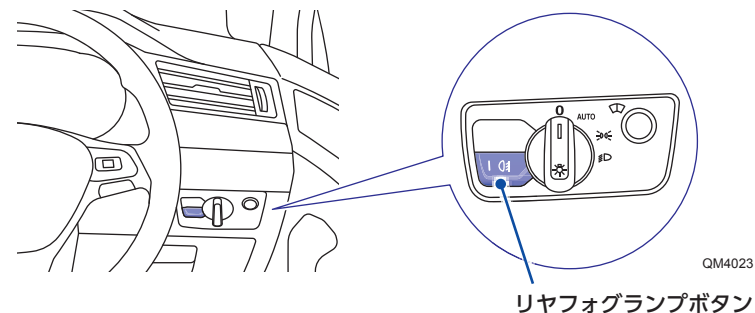
フロントカメラにより対向車のヘッドライトや先行車のテールライトを検出し、ライトの照射角度を自動で調整します。

ダイナミックライトアシスト機能は、ライトスイッチを AUTO 位置に回し、ステアリングホイール左側のレバーを前方に 1 回押すことで作動します。作動中はメーターのディスプレイに **DL** が表示されます。

この機能は、インフォテイメントシステムで ON/OFF を切り替えることができます。

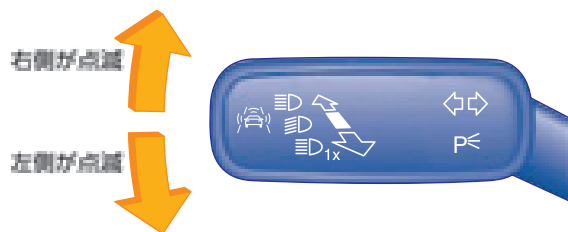
フォグランプ

ライトスイッチが AUTO、スモールライト点灯、またはヘッドライト点灯の位置でリヤフォグランプボタンを押すと、リヤフォグランプが点灯します。



方向指示器

ステアリングホイール左側のレバーで、方向指示器を点滅させます。



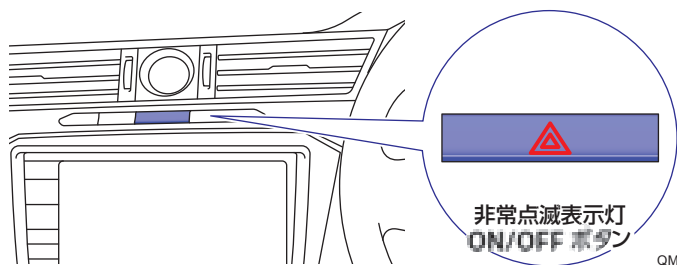
QM4024

車線変更点滅機能

レバーを軽く操作すると、方向指示器が3回点滅します。この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

非常点滅表示灯

センターコンソールの非常点滅表示灯 ON/OFF ボタンで非常点滅表示灯を点滅します。

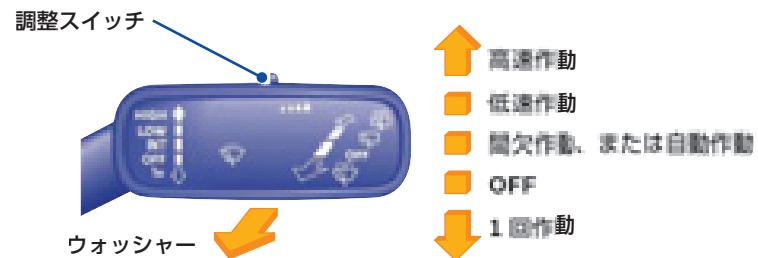


QM8015

ウインドーワイパー、ウォッシャー

フロントワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、フロントワイパー・ウォッシャーを作動します。



Q0030

ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。調整スイッチで、間欠間隔、またはレインセンサーの感度を調整します。

レインセンサー装備車は、インフォテインメントシステムで自動作動の機能の ON/OFF を切り替えることができます。

リヤワイパー

ステアリングホイール右側のレバーで、リヤワイパー・ウォッシャーを作動します。



Q0031

ウォッシャーを作動させると、ワイパーが数回作動します。

後退時のリヤワイパー自動作動

フロントワイパーが ON のときにセレクターレバーを“R”にシフトすると、リヤワイパーが自動的に作動します。この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

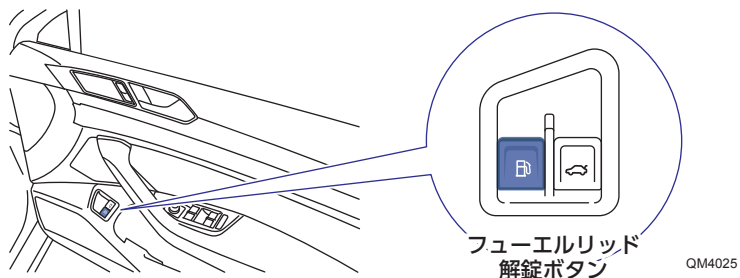
燃料の給油

給油前に、下記の状態になっていることを確認してください。

- イグニッションスイッチが“OFF”
- セレクターレバーが“P”
- パーキングブレーキがかかっている

操作 手順

1 運転席ドアにあるフューエルリッド解錠ボタンを押します。



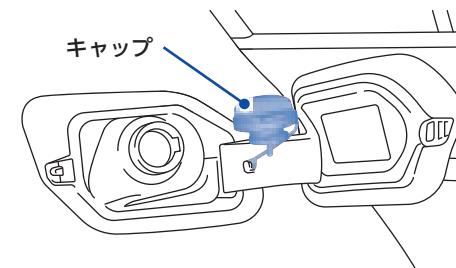
燃料タンクの自動エア抜きが行われますので、フューエルリッドが解錠されるまでお待ちください。
解錠されると、コンビネーションメーターのディスプレイに「給油準備できています 給油してください」と表示され、フューエルリッドが持ち上がります。

2 フューエルリッドを開きます。

フューエルリッドは車両の右側後方にあります。
フューエルリッドを手前に開きます。

3 燃料タンクのキャップを開けます。

キャップを反時計方向に回して外し、フューエルリッドのヒンジ部に掛けます。



QM2022

4 給油します。

使用燃料 …………… 無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）

5 燃料タンクのキャップを閉めます。

キャップが止まるまで時計方向に回します。

6 フューエルリッドを閉めます。

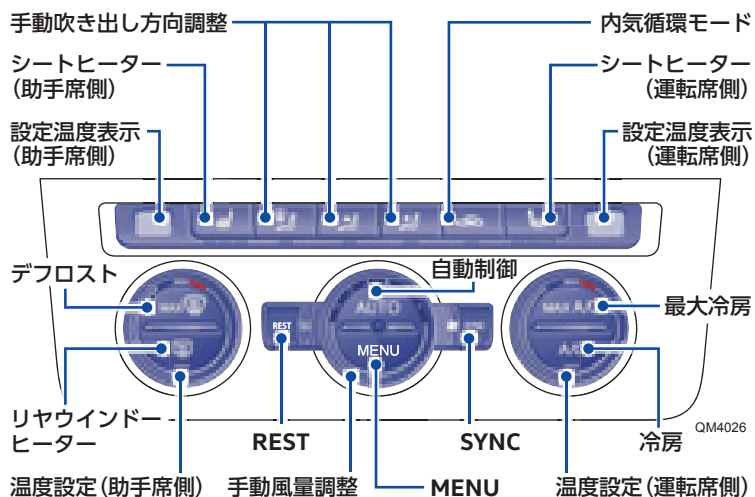
便利な機能

室内装備

フルオートエアコンディショナー

フルオートエアコンディショナーの操作

センターコンソールのコントロールパネルで操作します。

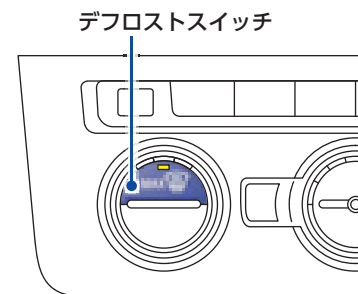


- 冷房を ON にすると、除湿もできます。車内の温度、湿度がともに高く、窓が曇っている場合は、冷房を ON にして、設定温度を上げてください。
- 自動制御を ON にすると、設定温度に応じて、風量、送風方向を自動的に制御します。手動でこれらを制御すると、自動制御は OFF になります。

- REST スイッチを押すと、スイッチの表示灯が点灯し、余熱機能が ON になります。
この機能は、エンジンが温まっていて、イグニッションスイッチが OFF の時、エンジンの余熱を利用して車内の温度を保ちます。作動してから 30 分後、またはバッテリー容量が低下しているとき、自動的に OFF になります。
- SYNC スイッチを押すと、スイッチの表示灯が点灯して助手席側の設定温度が運転席側と連動します。連動を解除するときは、もう一度 SYNC スイッチを押すか、助手席側の温度設定ダイヤルを回します。
- MENU スイッチを押すと、インフォテインメントシステムでエアコンの設定をすることができます。

デフロスト機能

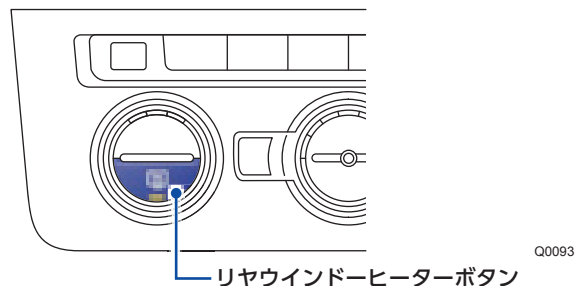
フロントウインドーガラスの曇りを取ることができます。デフロストスイッチを押すとデフロスト機能が作動し、フロントウインドーへ送風を行います。デフロスト機能が作動すると、内気循環モードが OFF になり、吹き出し口が自動的にフロントウインドー側に設定されます。また、外気温との温度差があるときは、冷房システムが ON になります。



Q0094

リヤウインドーヒーター

リヤウインドーガラスの曇りを取ることができます。
リヤウインドーヒーターボタンを押すと、リヤウインドーヒーターが数分間作動します。
リヤウインドーヒーターが作動すると、熱によりリヤウインドーの曇りが取れます。



パーキングエアコンディショナー

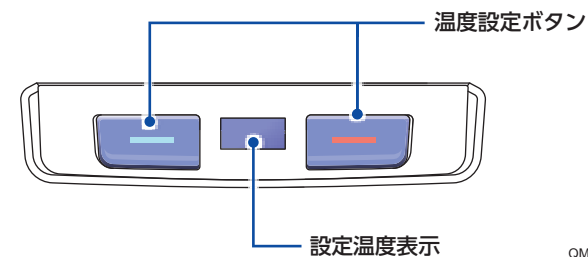
インフォテイメントシステムや“Volkswagen Car-Net e-Remote”のe マネージャーを使って、運転前にエアコンディショナーを作動させておくことができます。

充電プラグを差し込んでいる状態でパーキングエアコンディショナーを作動させると、外部電源からの電力によりエアコンディショナーを作動させることができます。この場合、高電圧バッテリーの電力は消費しません。

充電プラグを差し込んでいない場合は、高電圧バッテリーの電力によりエアコンディショナーを作動させます。高電圧バッテリーの電力を使ったエアコンディショナーの作動を禁止することもできます。

後席用温度設定ボタン

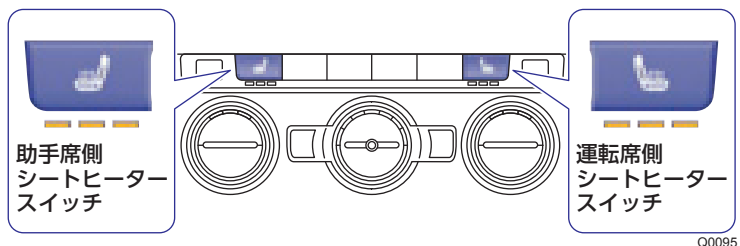
センターコンソール後部にある後席用温度設定ボタンで、後席の温度を設定することができます。設定した温度は、中央のディスプレイに表示されます。



QM3001

シートヒーター

センターコンソール上部にあるシートヒータースイッチを押すと、フロントシートのシート座面と背もたれのヒーターが作動します。ヒーターの強さは3段階です。スイッチを押すごとに、強（表示灯が3つ点灯）⇒中（表示灯が2つ点灯）⇒弱（表示灯が1つ点灯）⇒OFF（表示灯が消灯）の順に切り替わります。

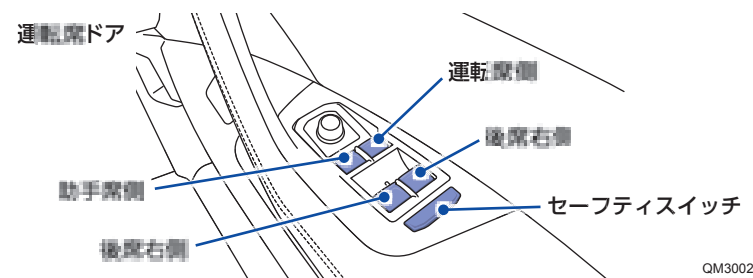


下記の状態のときは、シートヒーターをONにしないでください。

- シートに座っていないとき
- シートにカバーを装着しているとき
- シートにチャイルドシートを装着しているとき
- シート面に湿気がある、または濡れているとき
- 車内温度または外気温度が25℃以上のとき

パワーウィンドー

各ドアにあるパワーウィンドースイッチで、ウィンドーの開閉を操作します。



セーフティスイッチを押すと、後席ドアのパワーウィンドーは作動しなくなります。

アドバイス

リモコンキーを使って車外から全てのウィンドーの開閉を行うことができます。

リモコンキーの解錠ボタンを押し続けると開き、施錠ボタンを押し続けると閉まります。

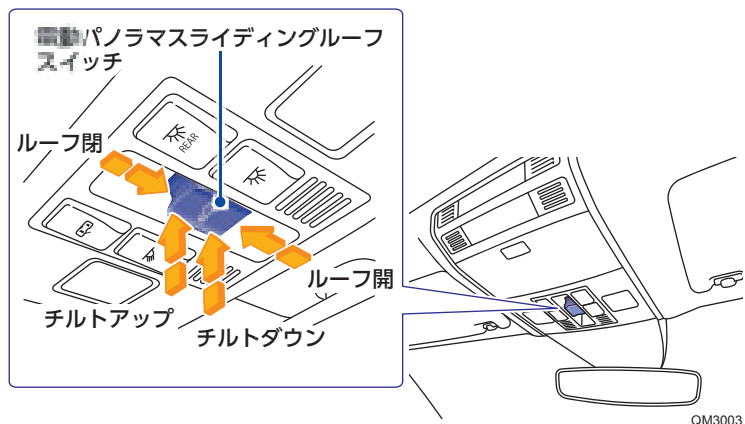
全てのウィンドーが閉まると、方向指示器が1回点滅します。

この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

電動パノラマスライディングルーフ

電動パノラマスライディングルーフ

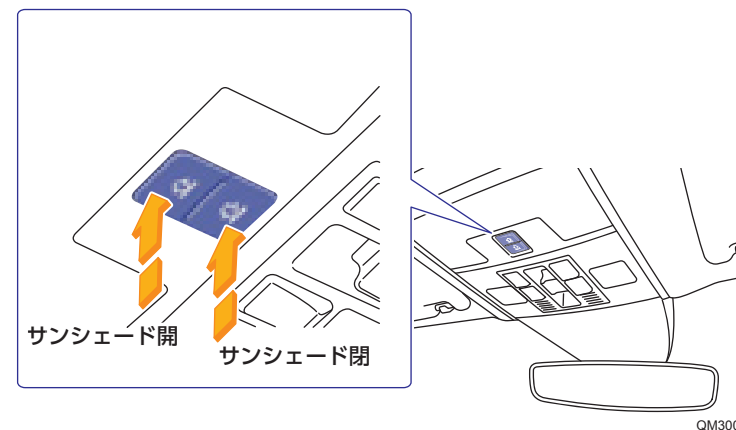
ルーフにあるスイッチで、電動パノラマスライディングルーフの開閉とチルト機能を操作します。



- 1 段階目・・・押し続けている間、開閉する
- 2 段階目・・・自動で全開 / 全閉する (再度押すと停止)

電動サンシェード

ルーフにあるスイッチで、電動サンシェードの開閉を操作します。



- 1 段階目・・・押し続けている間、開閉する
- 2 段階目・・・自動で全開 / 全閉する (再度押すと停止)

電動パノラマスライディングルーフを開けると連動して開きます。電動パノラマスライディングルーフが開いているときは、開けているところまで閉めることができます。

アドバイス

Passat GTE

リモコンキーを使って車外から電動パノラマスライディングルーフの開閉を行うことができます。

リモコンキーの解錠ボタンを押し続けると開き、施錠ボタンを押し続けると閉まります。

電動パノラマスライディングルーフが閉まると、方向指示器が1回点滅します。

この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

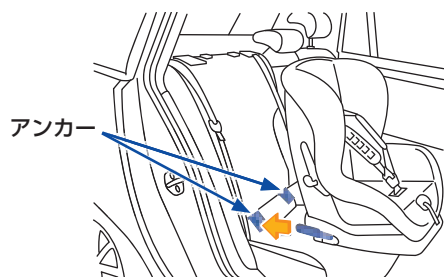
チャイルドシート

チャイルドシートを取り付ける時は、チャイルドシートの取扱説明書に従って、正しく取り付けてください。

ISOFIX チャイルドシートの取り付け

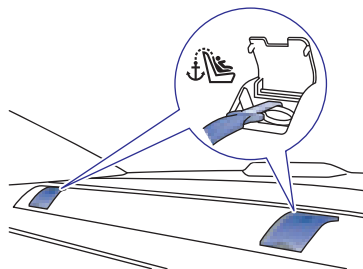
後部座席には、ISOFIX に対応したチャイルドシートを取り付けることができます。

ISOFIX チャイルドシートのアームを、リヤシート座面後方のアンカーに固定します。



Passat GTE

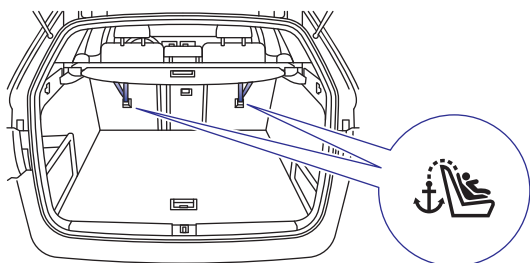
トップテザー固定部は、後部座席後方のリヤシェルフにあります。



QM4027

Passat GTE Variant

トップテザー固定部は、背もたれの裏側にあります。



QM3006

エアバッグ

運転席側フロント、運転席足元、助手席側フロント、前席サイド、後席サイド、カーテンエアバッグが装備されています。

助手席側エアバッグの機能停止

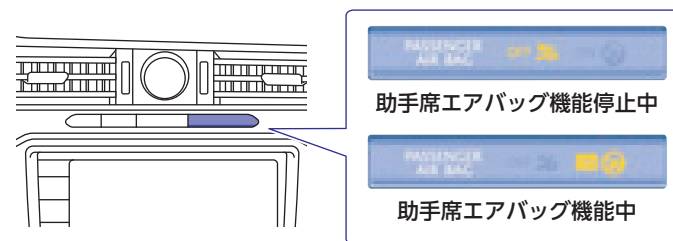
後ろ向きに座るタイプのチャイルドシートを助手席に取り付けると、助手席側フロントエアバッグが作動した時に非常に危険ですので、機能を停止させてください。

助手席側ドアを開け、側面の助手席エアバッグカットオフスイッチを、キーを使って OFF にすると、助手席側フロントエアバッグの作動を停止することができます。



QM3007

助手席側フロントエアバッグの作動を停止すると、センターコンソール上部の警告灯が切り替わります。

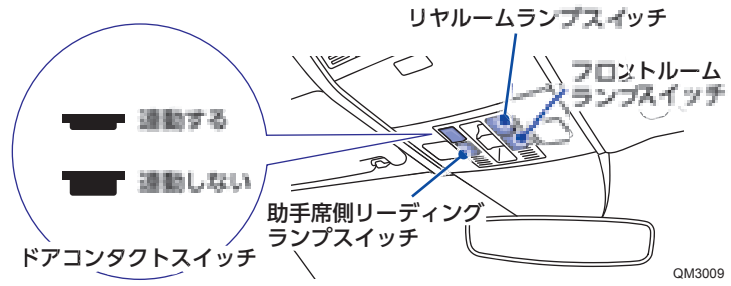


QM8016

ルームランプ、リーディングランプ

ルームミラーの近くにフロントルームランプ、後席天井にリヤルームランプがあります。

ドアコンタクトスイッチにより、ドアの開閉に連動して自動的に点灯 / 消灯させることができます。



QM3009

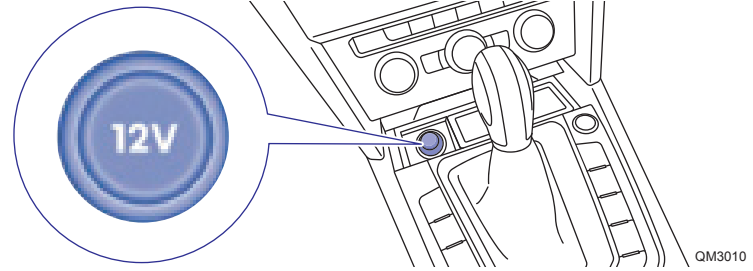
フロントルームランプの助手席側およびリヤルームランプの左右は、それぞれ独立したリーディングランプとしても点灯することができます。

12V ソケット

12V ソケットはセンターコンソール前部、センターコンソール後部ラゲージルームにあります。

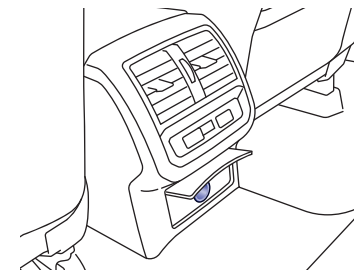
最大消費電力は 120W です。同時使用時は総消費電力が 190W を超えないようにしてください。

センターコンソール前部



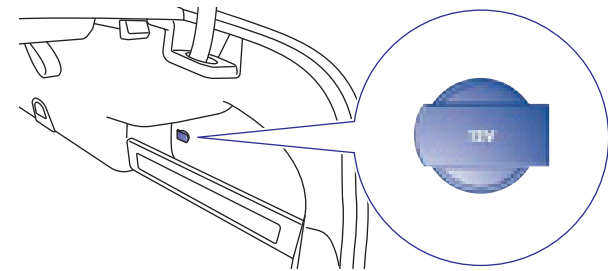
QM3010

センターコンソール後部



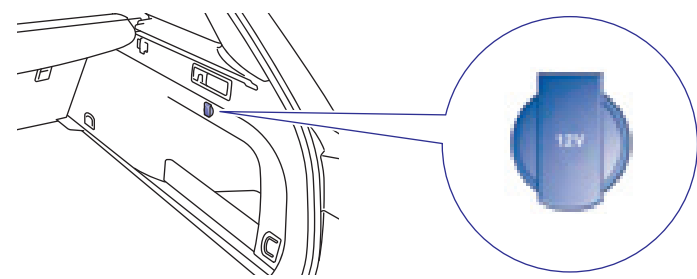
QM4030

トランクルーム



QM4031

ラゲージルーム

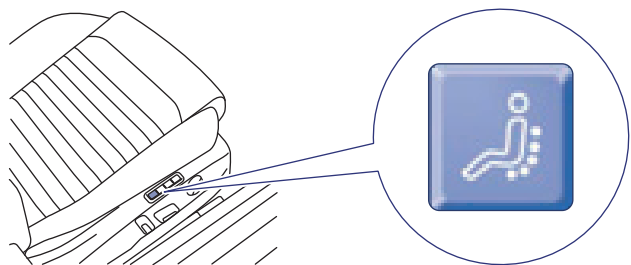


QM4032

マッサージ機能

マッサージ機能は、運転席シートに装備され、ドライバーの疲労感や運転のストレスを和らげ、長時間のドライビングをより快適にします。この機能は、運転中でも作動することが可能です。

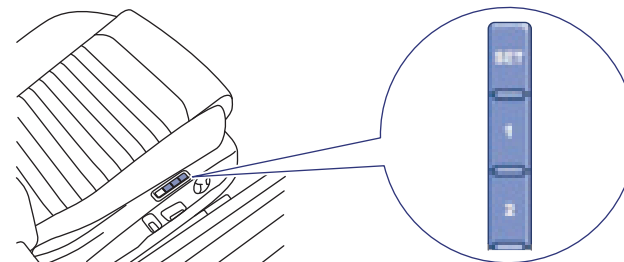
マッサージ機能ボタンを押すと、マッサージ機能が約 10 分間作動します。途中でマッサージ機能を停止したい場合は、マッサージ機能ボタンをもう一度押すと停止します。



QM3046

メモリーシート

運転席シートおよびドアミラーの位置を記憶することができます。運転席シートおよびドアミラーの位置は 2 パターン記憶することができます。



QM3047

操作手順

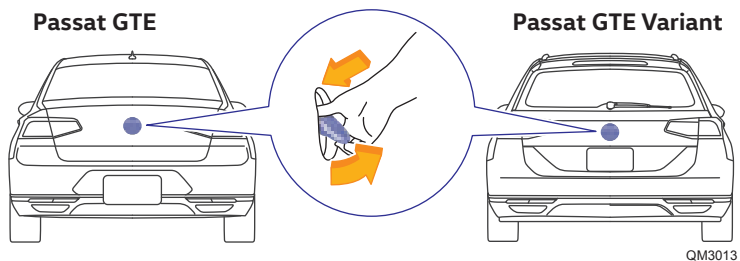
- 1 イグニッションスイッチを ON にします。
- 2 運転席シート、およびドアミラー位置を調整します。
- 3 調整が完了したら、「SET」ボタンを 1 秒以上押した後、10 秒以内に「1」または「2」ボタンを押します。正常に記憶されると、信号音が鳴り設定が完了したことをお知らせします。

荷物の積載

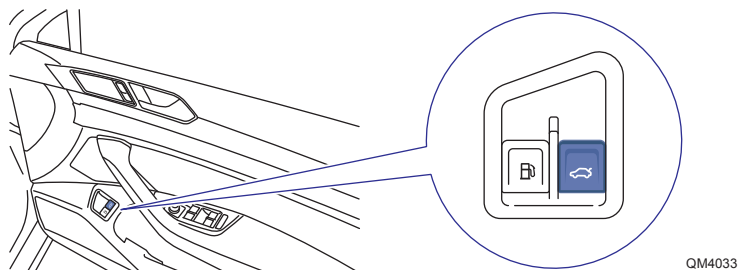
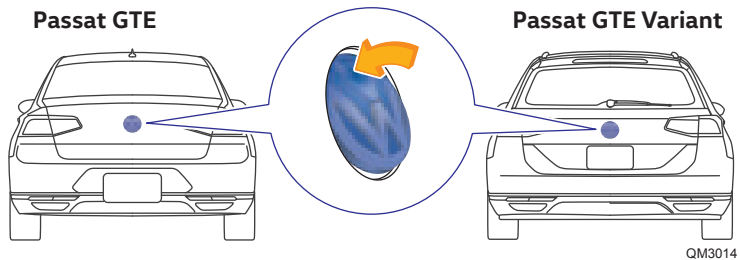
ラゲージルーム

トランクリッド/テールゲートを開ける

パワーテールゲートが装備されていない場合、トランクリッド/テールゲートオープナー（VW エンブレム）の上部を押して開き、下部を手前に引いてトランクリッド/テールゲートを開きます。

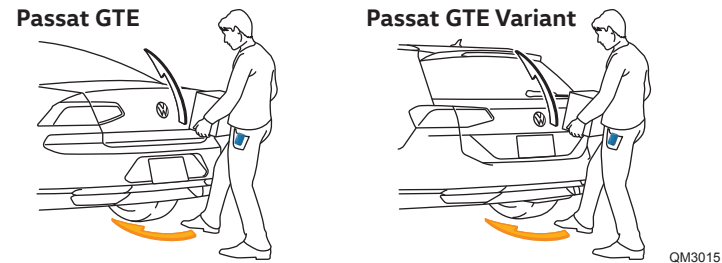


パワーテールゲートが装備されている場合、トランクリッド/テールゲートオープナー（VW エンブレム）の上部を押す、または運転席ドアについているトランクリッド/テールゲートリリーススイッチを引くと、トランクリッド/テールゲートが自動で開きます。



Easy Open

車両キーを保持したユーザーが、リアバンパーの下で足を動かすと、トランクリッド/テールゲートが自動で開きます。

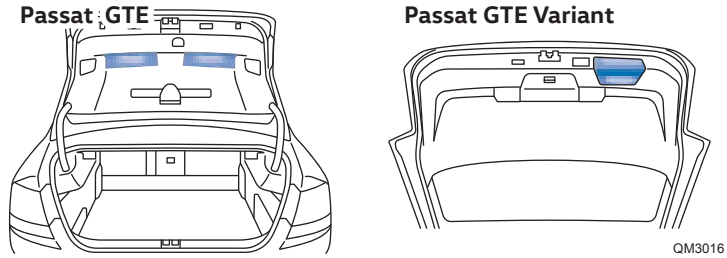


アドバイス

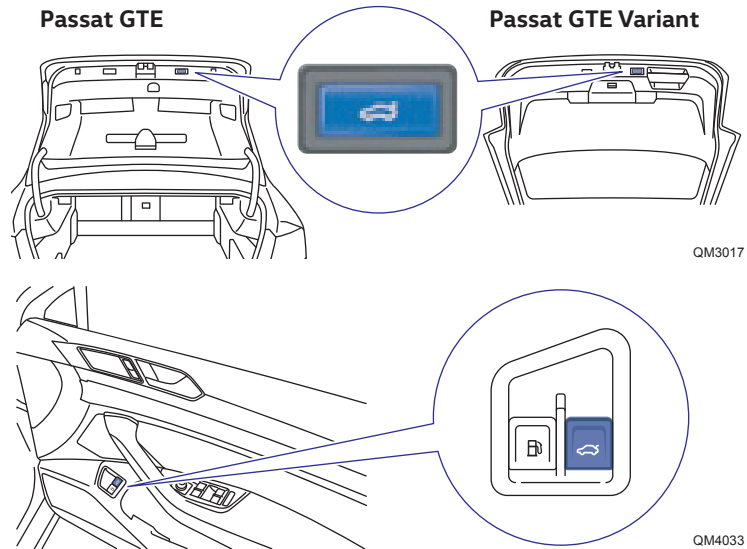
この機能はインフォテインメントシステムで設定を切り替えることができます。

トランクリッド/テールゲートを閉める

パワーテールゲートが装備されていない場合、トランクリッド/テールゲート内側の持ち手部分を引いて、トランクリッド/テールゲートを閉めます。



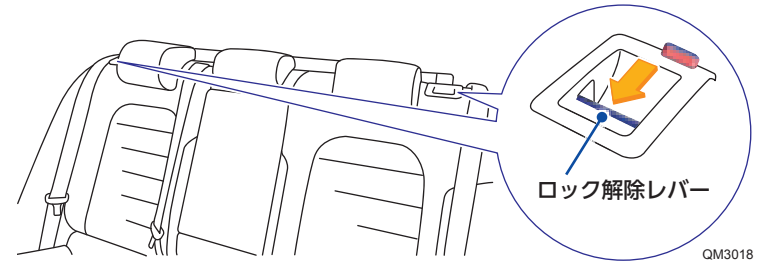
パワーテールゲートが装備されている場合、トランクリッド/テールゲート内側のボタンを押す、または運転席ドアについているトランクリッド/テールゲートリリーススイッチを引くと、トランクリッド/テールゲートが自動で閉まります。



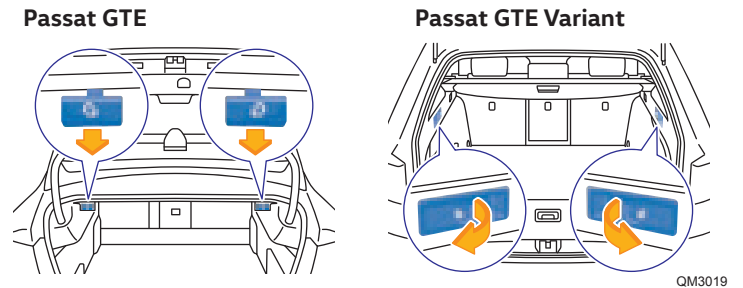
リヤシートの背もたれを倒す

分割可倒式リヤシートの背もたれを倒すことにより、ラゲージルームを広く使うことができます。

背もたれのドア側上部にあるロック解除レバーを引き、背もたれを前方に倒します。



ラゲージルームにあるロック解除レバーでも操作可能です。



リヤシートの背もたれを戻す

背もたれを元に戻すときは、背もたれを起こし、ロックされるまで後方に押し込みます。

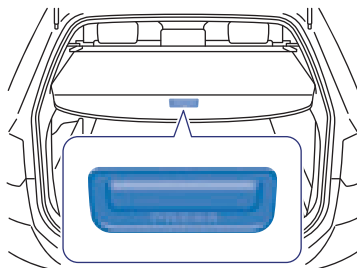
ロックされると、ロック解除レバーが元に戻り、赤い印が見えなくなります。

便利な機能

スライディングカバー (Passat GTE Variant)

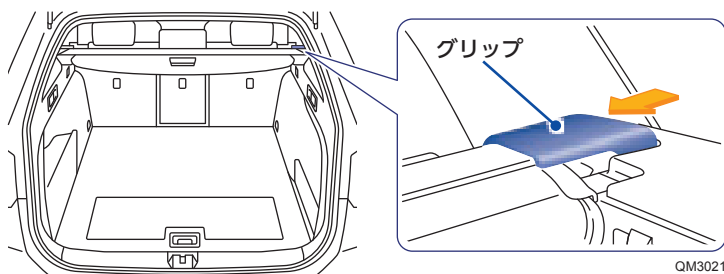
スライディングカバー前方の真ん中の持ち手部分を持って、下に押しと中央の位置まで自動的に収納され、もう一度押しすることで最後まで収納されます。

スライディングカバーを引き出す場合は、持ち手部分を持って、引き出してください。



QM3020

スライディングカバーを取り外す場合、グリップを内側に押し、スライディングカバーを上へ取り外します。



QM3021

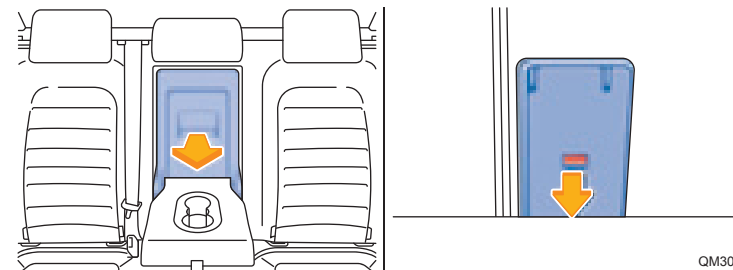
取り外したスライディングカバーは、ラゲージルームフロアパネルの下に収納することができます。

トランクスルー (Passat GTE)

リヤセンターアームレストの背面を開口して、長い荷物を車内に積載することができます。

車内から開ける

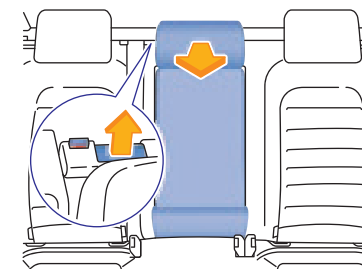
ラゲージルームから開ける



QM3022

ロードスルー (Passat GTE Variant)

ロック解除レバーを引き、ロードスルーシステムのカバーを手前に倒して、長い荷物を車内に積載することができます。



QM3023

運転支援

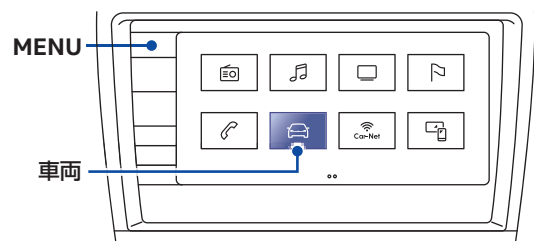
インフォテイメントシステム

車両設定

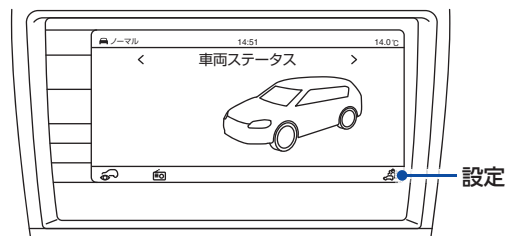
タッチパネルディスプレイを使って、車両の様々な機能の設定をすることができます。

操作手順

- 1 ディ스플레이の「MENU」を選択します。
- 2 ディ스플레이の「車両」を選択します。
- 3 ディ스플레이の「設定」を選択します。
- 4 車両設定画面が表示されるので、各項目を選択し設定します。



QM8010



QM8007

車両設定画面では、以下の各種設定を行うことができます。

メニュー	サブメニュー	設定方法
ESCシステム	—	<ul style="list-style-type: none"> 以下のシステムの ON・OFF を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - トラクションコントロールシステム (ASR) - エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC)
電気走行 / 充電	充電値	<ul style="list-style-type: none"> 即時充電時の最大充電電流の設定をすることができます。
	e マネージャーの設定	<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能を設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> - パーキングエアコンディショナーの車内温度 - バッテリー充電の下限 高電圧バッテリーによるエアコン作動の ON/OFF を切り替えることができます。
タイヤ	タイヤ空気圧警告灯	<ul style="list-style-type: none"> タイヤモニタリングシステムのリセット操作ができます。
	ウインタータイヤ	<ul style="list-style-type: none"> 速度警告の ON・OFF の切り替えおよび速度警告の車速設定をすることができます。
ドライバーアシスト	ACC	<ul style="list-style-type: none"> 前回選択した設定の適用の ON・OFF を切り替えることができます。 以下の機能を設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> - 車間距離レベル
	Front Assist	<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - プリクラッシュブレーキシステム "Front Assist" - 接近警報 - 車間距離警告の表示
Lane Assist		<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - レーンキープアシスト "Lane Assist" - アダプティブレーンアシスト
Side Assist		<ul style="list-style-type: none"> レーンチェンジアシストシステム "Side Assist Plus" の ON・OFF を切り替えることができます。 警告灯の明るさを調整することができます。
歩行者検知		<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - 歩行者検知システム - 警告
疲労検知システム		<ul style="list-style-type: none"> ドライバー疲労検知システム "Fatigue Detection System" の ON・OFF を切り替えることができます。
プリクラッシュセーフティシステム		<ul style="list-style-type: none"> プロアクティブオキュパントプロテクションの ON・OFF を切り替えることができます。

メニュー	サブメニュー	設定方法
Park Assist	パーク ディスタンス コントロール	<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - パークディスタンスコントロール - パークディスタンスコントロールの自動作動 以下の機能を設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> - フロント/リヤの音量 - フロント/リヤのトーンレベル - パークディスタンスコントロール作動時のインフォテイメントシステムの音量
	リヤトラフィック アラート	<ul style="list-style-type: none"> リヤトラフィックアラートの ON・OFF を切り替えることができます。
ライト	オートライト アシスト	<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - ダイナミックコーナリングライト - ダイナミックライトアシスト - オートマチックドライビングライト (降雨時) - 車線変更点滅機能 以下の機能を設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> - オートマチックドライビングライトコントロールの始動時間 - トラベルモード (右側/左側通行)
	ルームランプ	<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能を設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> - メーター/スイッチの明るさ
	[カミングホーム/ リビングホーム] 機能	<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能を設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> - カミングホーム機能の作動時間 - リビングホーム機能の作動時間
	アンビエント ライト	—
ミラーおよび ワイパー	ミラー	<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - ドアミラーの同期調整 - ドアミラーの後退時位置設定 - 駐車時の格納
	ワイパー	<ul style="list-style-type: none"> 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - 自動ワイパー (降雨時) - 後退時のリヤウインドーワイパー作動

メニュー	サブメニュー	設定方法
開閉	ウインドー操作	<ul style="list-style-type: none"> ウインドーコンビニエンスオープンの設定をすることができます。
	集中ドアロック	<ul style="list-style-type: none"> ドア解錠の設定をすることができます。 以下の機能の ON・OFF を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - 自動施錠 - イージーオープン - ラゲージコンパートメントカバーの自動オープン
シート	シート位置を 保持する	<ul style="list-style-type: none"> 車両キーのシートメモリー機能の ON・OFF を切り替えることができます。
コンビネーション メーター	ヘッドアップ ディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドアップディスプレイに表示させる項目を選択することができます。
	マルチ ファンクション インジケーター	<ul style="list-style-type: none"> アクティブインフォディスプレイに表示させる項目を選択することができます。
日付と時間	—	<ul style="list-style-type: none"> 時刻や日付などの設定をすることができます。
単位	—	<ul style="list-style-type: none"> 距離や車速などの単位を設定することができます。
サービス	—	<ul style="list-style-type: none"> 以下のデータが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> - 車体番号 - 次回の点検整備の時期 - 次回のエンジンオイル交換の時期
工場出荷時 設定	—	<ul style="list-style-type: none"> 以下の設定をリセットすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> - すべての設定 - ドライバーアシスト - 駐車支援 - ライト - ミラーおよびワイパー - 開閉 - マルチファンクションインジケーター (走行データ)

ドライビングプロフィール

ドライビングプロフィールとは

各モードごとにエンジンやトランスミッションなどの設定を最適化することで、走行状況などに応じてドライバーのお好みの運転特性を選択することができます。

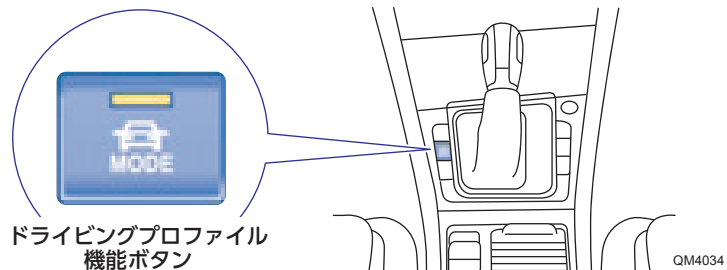
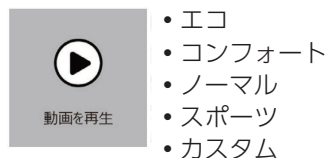
ドライビングプロフィールの切り替えかた

ドライビングプロフィール機能ボタンを押すごとに、ドライビングプロフィールが切り替わります。

インフォテイメントシステムのディスプレイに選択中のドライビングプロフィールが表示されます。

以下の5つのドライビングプロフィールが選択できます。

選択できるドライビングプロフィールの種類は車種により異なります。



エコ

燃費を重視した特性になるため、低燃費運転をしたいときに選択します。

コンフォート

快適性を重視した特性になるため、悪路を走行するときや、高速道路を長距離走行するときを選択します。

ノーマル

標準的な特性になるため、通常走行時に選択します。

スポーツ

走行性能を重視した特性になるため、スポーツ走行などをするときに選択します。

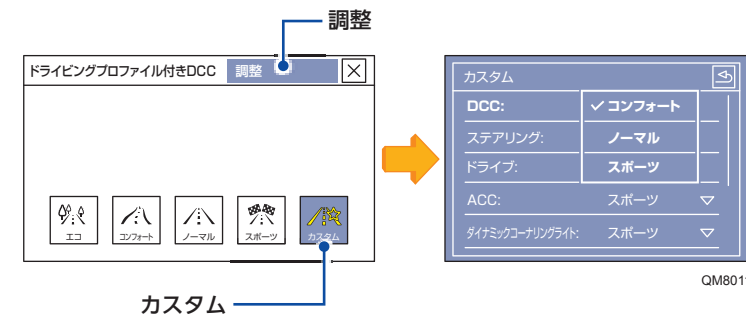
カスタム

各システムをお好みの特性に設定することができます。

ドライビングプロフィール「カスタム」の設定のしかた

操作手順

- 1 ドライビングプロフィール機能ボタンを押します。
- 2 ディスプレイの「カスタム」を選択します。
- 3 「調整」を選択します。
- 4 システムごとの特性を選択します。



アドバイス

運転状態、空調の可否によって適切なドライビングプロフィールを選択してください。

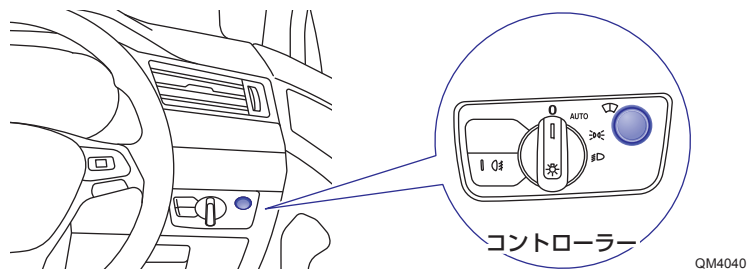
ヘッドアップディスプレイ

ヘッドアップディスプレイは、スピードメーター、ナビゲーションシステムのルート案内、アダプティブクルーズコントロール (ACC) の現在の状態、レーンキープアシストシステム “Lane Assist” の現在の状態を表示できます。

表示内容は、インフォテインメントシステムで選択します。

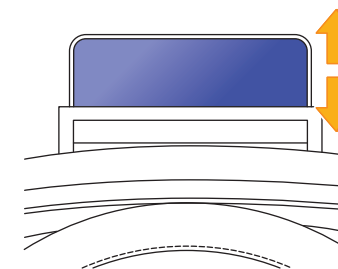
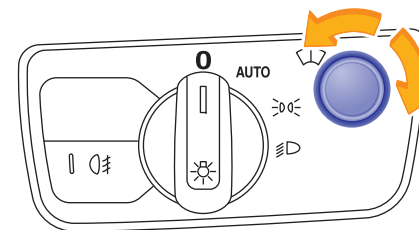
ヘッドアップディスプレイを ON にするには、ライトスイッチの右上にあるコントローラーを押します。ディスプレイが出てきます。

OFF にするには、コントローラーを再度押します。ディスプレイは格納します。



ヘッドアップディスプレイの高さ調整

ディスプレイの高さを調整することができます。コントローラーを右に回すとディスプレイは上昇します。左に回すと下降します。



表示項目の選択のしかた

操作手順

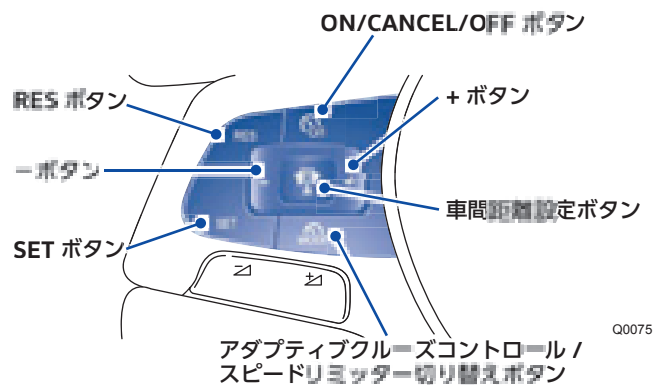
- 1 ディ스플레이の「MENU」を選択します。
- 2 ディ스플레이の「車両」を選択します。
- 3 ディ스플레이の「設定」を選択します。
- 4 「コンビネーションメーター」の“ヘッドアップディスプレイ”で表示させたい項目のチェックボックスにチェック を入れます。

アダプティブクルーズコントロール “ACC”

レーダーセンサーで先行車との車間距離を測定して一定に維持し、設定した速度を上限に自動で加減速を行います。



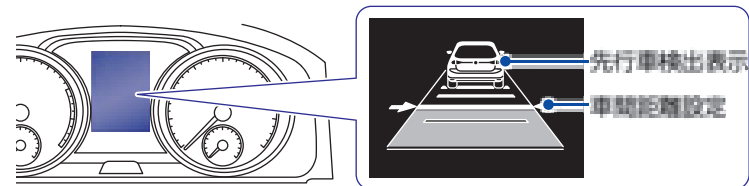
アダプティブクルーズコントロールは、マルチファンクションステアリングホイール左側のボタンで操作します。



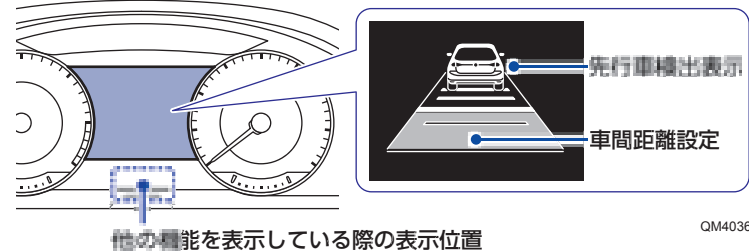
アダプティブクルーズコントロールが作動しているときは、コンビネーションメーターのディスプレイの中央に作動状態が表示されます。

先行車検出表示・・・先行車を検出しているときに表示します。
車間距離設定・・・現在の車間距離設定を表示します。

アナログメーター



Active Info Display





他の機能（ナビゲーションシステム等）を表示させている場合は、ディスプレイ中央下部に小さく表示されます。

アドバイス

- ・車間距離設定は、ハイライトの範囲が狭いほど短く、広いほど長くなります。
- ・Active Info Display の場合、ディスプレイメニューの「表示」から「ドライバーアシストシステム」を選択することにより、左側丸型メーター部に作動状態を表示させることもできます。

操作
手順

- 1 ON/CANCEL/OFF ボタン  を押し、システムを ON (スタンバイ状態※) にします。
- 2 設定したい車速まで加速または減速し、SET ボタンを押します。
- 3 車間距離設定ボタン  を押し、車間距離を設定します。車間距離は 5 段階で調整ことができ、最短⇒短⇒中⇒長⇒最長の順に切り替わります。

システムが作動すると、設定した速度を上限に自動で加減速を行い、先行車を検知すると、設定した車間距離に制御します。


※：システムが ON で、車速の自動制御が行われていない状態です。設定車速や車間距離設定を変更することができます。

設定車速の変えかた

システム作動中は、以下の方法で設定車速を変更することができます。


- RES ボタンを押すと、設定車速が 1km/h ずつ上がります。
+ ボタンを押すと、設定車速が 10km/h ずつ上がります。
- SET ボタンを押すと、設定車速が 1km/h ずつ下がります。
- ボタンを押すと、設定車速が 10km/h ずつ下がります。

車間距離設定の変えかた

車間距離設定ボタン  を押します。車間距離は 5 段階で調整することができ、最短⇒短⇒中⇒長⇒最長の順に切り替わります。

システムの一時停止のしかた

以下の方法で、システムを一時停止することができます。システムを一時停止すると、システムの作動は停止しますが設定車速は保存されます。

- ON/CANCEL/OFF ボタン  を押すか、もしくはブレーキペダルを踏みます。
- 一時的に操作を止めた後、以前設定した車速に戻すには、RES ボタンを押します。

システムの停止のしかた

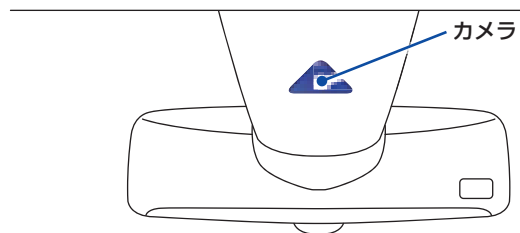
以下の方法で、システムを停止することができます。このとき、設定車速も消去されます。

- ON/CANCEL/OFF ボタン  を長押しします。
- システムを一時的に OFF にしているときは、ON/CANCEL/OFF ボタン  を短く押します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

レーンキープアシストシステム “Lane Assist”

フロントガラス上部に設置されたカメラにより走行中の車線をモニタリングし、運転者が意図しない車線の逸脱を検知すると、自動的にステアリングを補正したり、ステアリングを振動させて注意を促します。

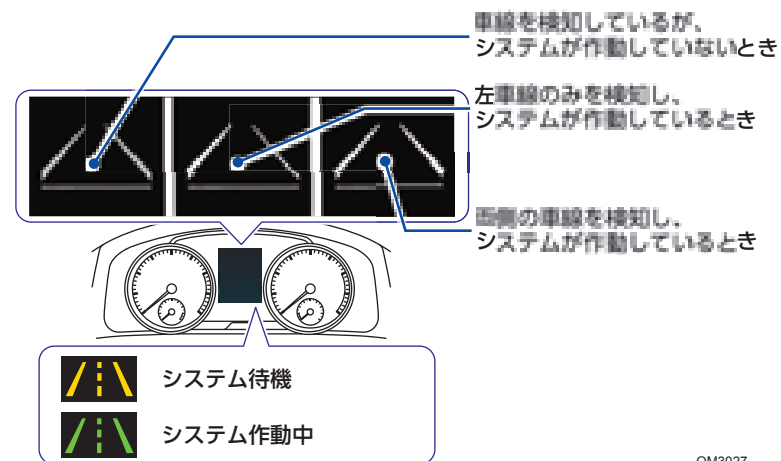


Q0034

コンビネーションメーターのディスプレイにレーンキープアシストシステム “Lane Assist” の作動状態が表示されます。

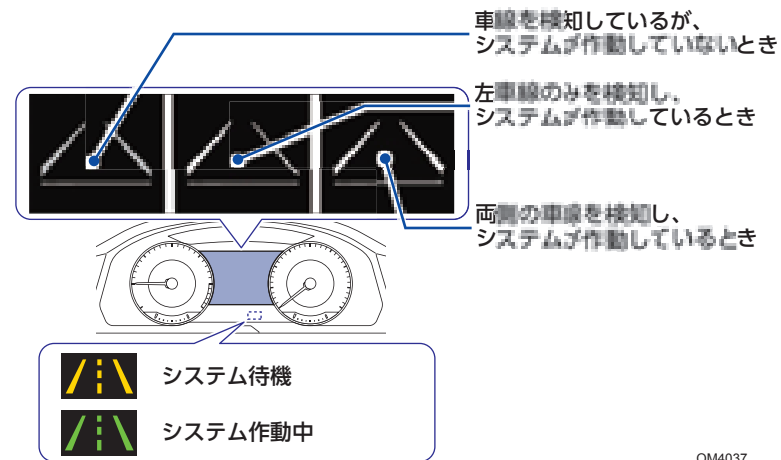
- 線の色が薄い : 車線を検知していないとき
- 線が細く色が濃い : 車線を検知しているが、システムが作動していないとき
- 線が太く色が濃い : 車線を検知し、システムが作動しているとき

アナログメーター



QM3027

Active Info Display



QM4037

アドバイス

Active Info Display の場合、ディスプレイメニューの「表示」から「ドライバーアシストシステム」を選択することにより、左側丸型メーター部に作動状態を表示させることもできます。

レーンキープアシスト“Lane Assist”の機能停止のしかた

操作 手順

- 1 ディスプレイの「MENU」を選択します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「ドライバーアシスト」の“Lane Assist”で「作動」のチェックボックス を外します。

コンビネーションメーターのディスプレイの表示灯が消灯し、レーンキープアシストシステム“Lane Assist”をOFFにすることができます。

渋滞時追従支援システム“Traffic Assist”

渋滞時追従支援システム“Traffic Assist”は、レーンキープアシスト“Lane Assist”とアダプティブクルーズコントロール“ACC”が連動した機能です。渋滞の最後尾など、停止している車両の後ろで停止するまで減速し、先行車の動きを検知して再発進します。

この機能は、以下の条件下において機能します。

- レーンキープアシスト“Lane Assist”がオンになっている
- アダプティブクルーズコントロール“ACC”が作動している
- 車両が左右の車線を検知している
- 車速が60km/h以下

渋滞時追従支援システム“Traffic Assist”の機能停止のしかた

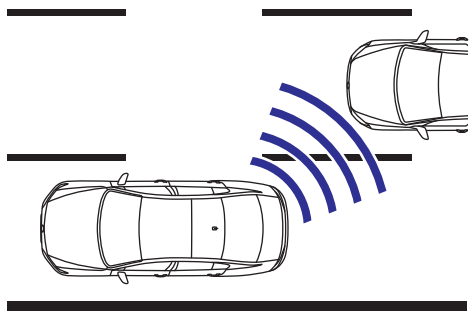
操作 手順

- 1 ディスプレイの「MENU」を選択します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「ドライバーアシスト」の“Lane Assist”で「アダプティブレーンガイド」のチェックボックス を外します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

レーンチェンジアシスト “Side Assist Plus”

レーンチェンジアシスト “Side Assist Plus” は、リヤバンパーの左右に取り付けられたレーダーセンサーで、車両後方をモニターします。車両斜め後ろの死角エリアに車両が走行していることを検知すると、ドアミラー内のインジケーターが点灯します。車両が検知された車線側に、ドライバーがウインカーを作動させるとインジケーターが点滅に切り替わり、ドライバーに注意を促します。また、車両が検知された車線側に進路変更しようとするステアリングを自動で補正し、他車との接触を回避します。



QM3038

レーンチェンジアシスト “Side Assist Plus” の機能停止のしかた

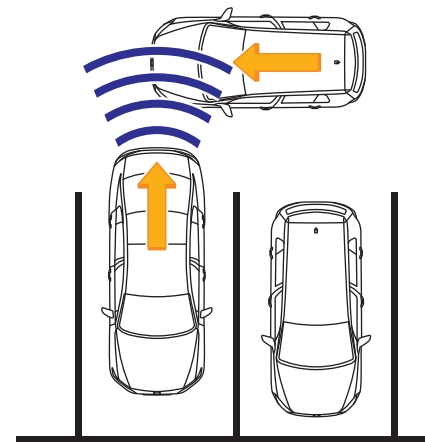
操作手順

- 1 ディスプレイの「MENU」を選択します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「ドライバーアシスト」の“Side Assist”で「作動」のチェックボックス を外します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

リヤトラフィックアラート (後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能)

リヤトラフィックアラート(後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能)は、リヤバンパーに取り付けられたレーダーセンサーで、後方を横切る車両をモニターし、駐車場から後退で発進する際、衝突の危険性があると、警告音・警告灯によりドライバーに注意を促します。警告を促してもドライバーが車両を停止せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的にブレーキを作動させます。この機能は、後退時 12km/h 以下で作動します。



QM3039

リヤトラフィックアラート (後退時警告・衝突軽減ブレーキ機能) の機能停止のしかた

操作手順

- 1 ディスプレイの「MENU」を選択します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「Park Assist」の“リヤトラフィックアラート”で「作動」のチェックボックス を外します。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

ドライバー疲労検知システム “Fatigue Detection System”

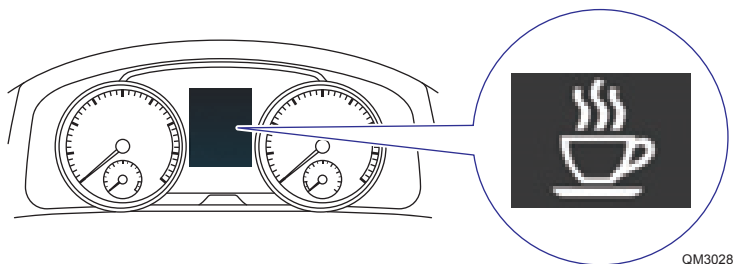
ドライバーの運転パターンをモニタリングし、疲労や眠気による急なステアリング操作など、通常の運転パターンと異なる動きを検知すると、コンビネーションメーターのディスプレイにメッセージを表示すると同時にブザーで休憩を促します。



運転パターンのモニタリングは、約 65km/h ~ 約 200km/h で走行中に行われます。

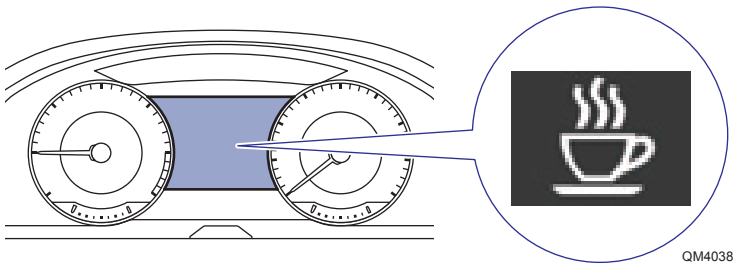
コンビネーションメーターのディスプレイに表示されたメッセージは、マルチファンクションステアリングホイールの「OK」ボタンを押すと OFF にすることができます。

アナログメーター

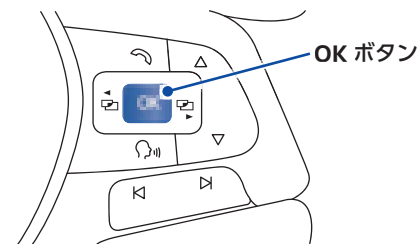


QM3028

Active Info Display



QM4038



QM4039

ドライバー疲労検知システム “Fatigue Detection System” の機能停止のしかた

操作 手順

- 1 ディスプレイの「MENU」を選択します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「ドライバーアシスト」の“疲労検知システム”で「作動」のチェックボックス を外します。

ドライバー疲労検知システム “Fatigue Detection System” を OFF にすることができます。

プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist” (歩行者検知対応シティエマージェンシーブレーキ機能付)

衝突のおそれがあるとき、ドライバーに注意を促したり自動的に減速したりします。

レーダーセンサーとフロントカメラにより先行車や歩行者を検知し、衝突の危険性があると、警告音・警告灯によりドライバーに注意を促します。同時に、制動距離を少しでも短くするため、ブレーキ圧を高めスタンバイ状態を保持します。

警告を促してもドライバーが減速せず、さらに衝突の危険性が高まると、システムが自動的に車両を減速させて衝突の被害を軽減します。



シティエマージェンシーブレーキ機能

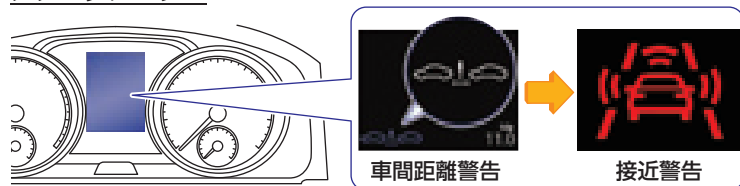
45km/h 未満での走行中にはシティエマージェンシーブレーキ機能が作動し、自動的にブレーキを作動させて危険を回避、あるいは衝突の被害を軽減します。

歩行者検知システム

65km/h 未満での走行中には歩行者検知システムが作動し、自動的にフルブレーキを作動させて危険を回避、あるいは衝突の被害を軽減します。

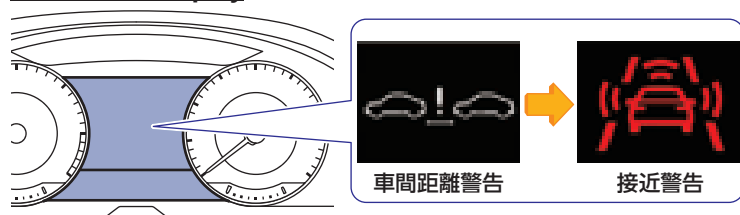
コンビネーションメーターのディスプレイに表示されたメッセージはマルチファンクションステアリングホイールの「OK」ボタンを押すと OFF にすることができます。

アナログメーター



Q0077

Active Info Display



QM4043

プリクラッシュブレーキシステム“Front Assist”の機能停止のしかた

操作手順

- 1 ディスプレイの「MENU」を選択します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「ドライバーアシスト」の“Front Assist (プリクラッシュブレーキシステム)”で「作動」、「事前警告」、「車間警告の表示」をそれぞれ OFF にできます。

歩行者検知システムの機能停止のしかた

操作手順

- 1 ディスプレイの「MENU」を選択します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「ドライバーアシスト」の“歩行者検知”で「作動」、「警告」をそれぞれ OFF にできます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

ESC(エレクトロニックスタビリティコントロール)

タイヤがスリップする危険性を減らし、走行安定性を高めます。ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）には、以下の機能が組み込まれています。

- ABS（アンチロックブレーキングシステム）
ブレーキをかけたとき、車輪がロックするのを防いで車両の操縦安定性を確保します。
- BAS（ブレーキアシストシステム）
ドライバーが急ブレーキなどでブレーキペダルを早く踏み込んだとき、ブレーキ圧を高めることで短い距離で停車することを補助します。
- ASR（トラクションコントロールシステム）
発進時や加速時のホイールの空転を抑え、安定した加速を補助します。
- XDS（エレクトロニックディファレンシャルロックシステム）
直進中、空転した駆動輪にブレーキをかけ、他の駆動輪に出力を伝達します。
高速カーブ走行時、内側の前輪にブレーキをかけて空転を防ぎ、車両の操縦安定性を確保します。

ESC/ASR の機能の切り替え

インフォテイメントシステムによる切り替え

操作 手順

- 1 ディスプレイの「MENU」を選択します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「ESC システム」で ESC および ASR の機能の ON/OFF を切り替えることができます。

プロアクティブ・オキュパント・プロテクション

事故の可能性を予測し、早い段階で乗員保護機能の作動に備えるシステムです。

急制動や極端なオーバーステア / アンダーステアによって発生しうる事故の可能性を検出すると、即座にシートベルトのテンションを高めます。同時にウインドーを閉じ、万が一の衝突が起きた際、各エアバッグが最大限の効力を発揮できるように備えるシステムです。

プロアクティブ・オキュパント・プロテクションは、約 30km/h 以上で走行中に作動します。

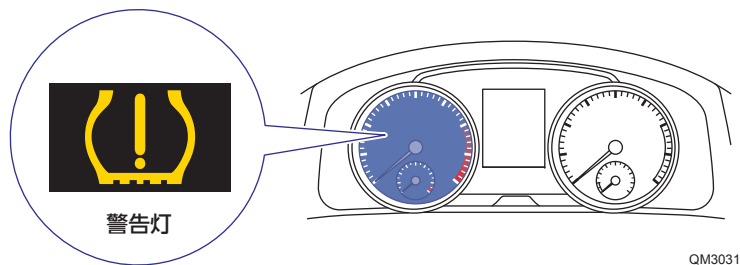


タイヤモニタリングシステム

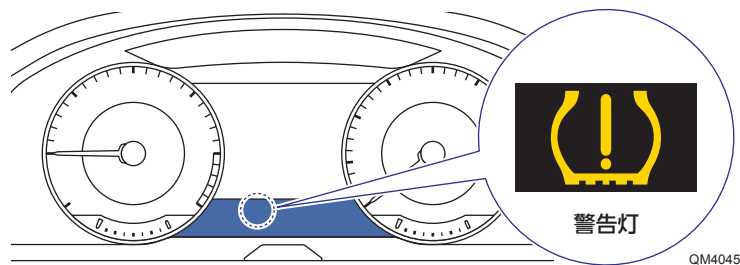
パンクのおそれがあるときなどに警告灯を点灯させてお知らせします。

警告灯が点灯したときはすみやかに安全な場所に停車し、4輪のタイヤ空気圧を点検してください。

アナログメーター



Active Info Display



タイヤモニタリングシステムの設定のしかた

タイヤ空気圧を調整したり、タイヤまたはホイールを交換したときは、システムを正しく作動させるため、タイヤモニタリングシステムを設定しなおしてください。

操作 手順

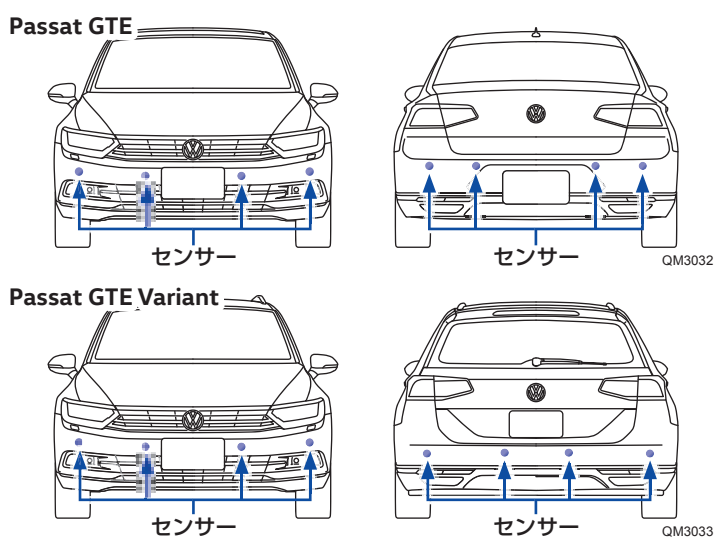
- 1 ディスプレイの「MENU」を選択します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「タイヤ」の“タイヤ空気圧警告灯”で「SET」を押します。

現在のタイヤ空気圧を基準値にして、タイヤモニタリングシステムの設定が完了します。

パークディスタンスコントロール

フロントバンパーおよびリアバンパーに取り付けられたセンサーによって、障害物への接近を知らせることでドライバーを支援するシステムです。

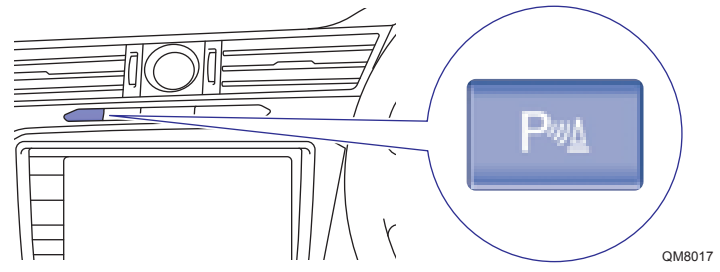
前進時および後退時に障害物に近づいて衝突の恐れがある場合、自動的にブレーキを作動させ衝突を回避または衝突の被害を軽減させます。



以下のときに作動します。

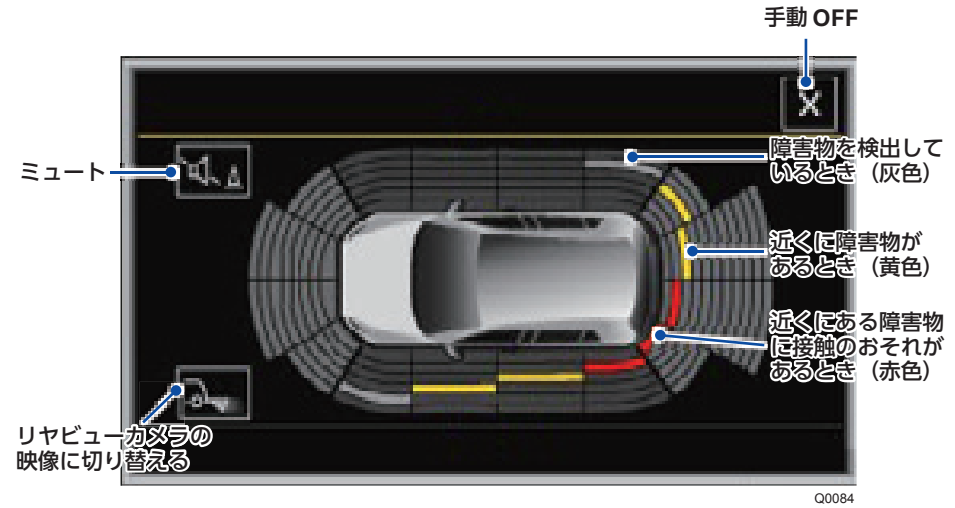
- セレクターレバーを“R”にしたとき
- 車両が後退したとき
- 前方の走行路にある障害物に、約 15km/h 未満で接近しているとき

また、センターコンソール上部のボタンを押すと、手動で ON/OFF を切り替えることができます。



障害物に近づくとピッピッピッピッという警告音が鳴り、インフォテイメントシステムのディスプレイに黄色い表示がおおよその距離と角度で表示されます。

さらに障害物に近づくと、ピーという警告音が鳴り続け、ディスプレイには赤色で表示されます。



パークディスタンスコントロールの設定のしかた

操作手順

- 1 ディスプレイの「MENU」を選択します。
- 2 ディスプレイの「車両」を選択します。
- 3 ディスプレイの「設定」を選択します。
- 4 「Park Assist」の“パークディスタンスコントロール”で、パークディスタンスコントロールの自動 ON の設定や警告音の音量の調整などができます。

リヤビューカメラ “Rear Assist”

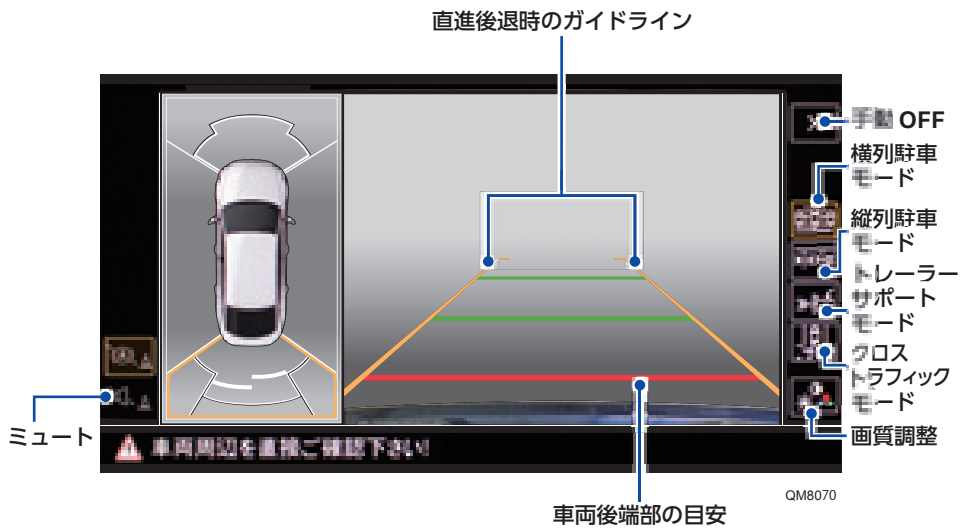
後退時、インフォテインメントシステムのディスプレイに後方の状況を表示して、ドライバーの後方視界を支援します。

カメラはテールゲートのエンブレム内部に格納されています。



セレクターレバーを“R”にすると、自動的にディスプレイに表示されます。

セレクターレバーを“R”以外にすると、表示が消えます。



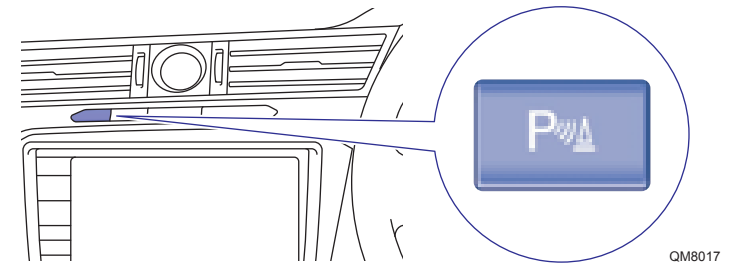
アラウンドビューカメラ “Area View”

アラウンドビューカメラ “Area View” は、4つのカメラが撮影した映像を合成し、車両の真上にカメラがあるような映像をインフォテインメントシステムの画面に表示します。

カメラはラジエーターグリル、ドアミラー、トランクリッド/テールゲートに取り付けられています。

セレクターレバーを“R”の位置にシフトしたときに作動します。

または、センターコンソール上部のボタンを押すと、手動で ON/OFF を切り替えることができます。

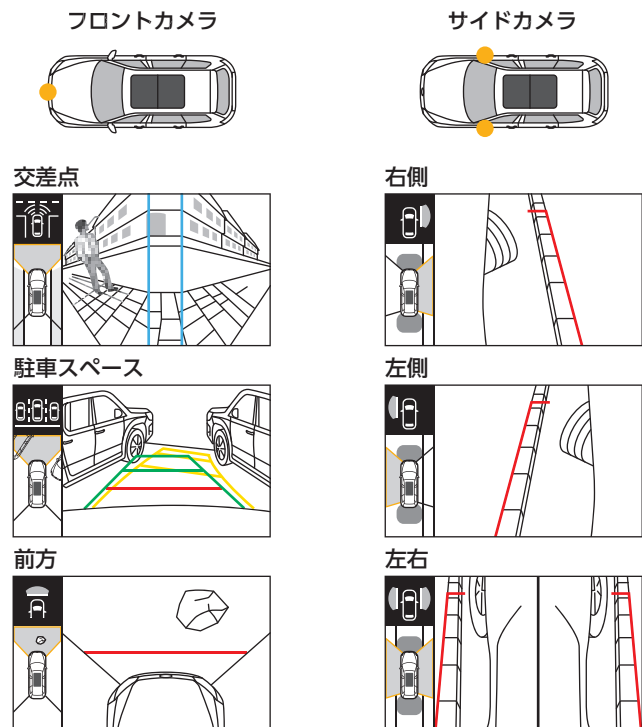


カメラビューの選択

4種類のカメラビューを、ディスプレイ右側に表示させることができます。

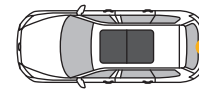
左に表示させるバードビューの画像では、選択したビューがオレンジ色の枠で強調されます。

さらにディスプレイ右側に、選択したカメラのメニュー項目とそのカメラビューが表示されます。

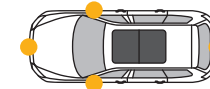


QM4051

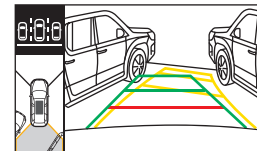
リヤカメラ



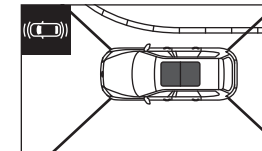
すべてのカメラ



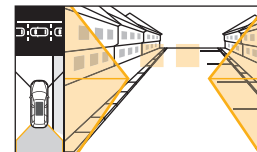
駐車スペース



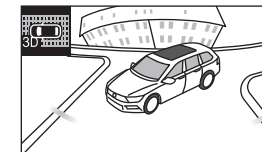
バードビュー



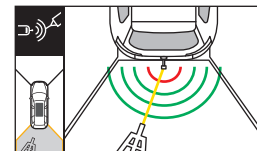
縦列駐車



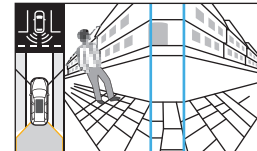
3D 表示



トレーラーアシスト



交差点



QM4052

便利な機能

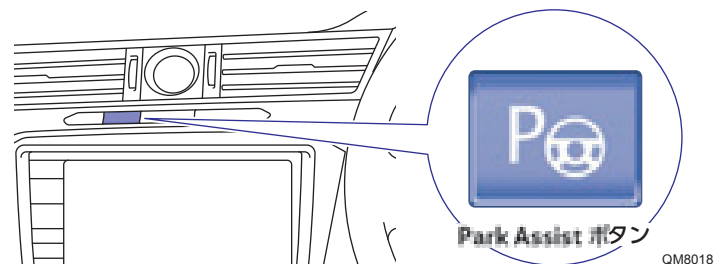
便利な機能

駐車支援システム “Park Assist”

駐車支援システム “Park Assist” は、縦列駐車、後退または前進して横列駐車をする際のステアリング操作を自動で行い、スムーズな駐車を補助します。

縦列駐車からの発進も、同様にシステムがステアリング操作を自動で行い、スムーズな発進を補助します。

運転者はコンビネーションメーターのディスプレイに表示されるガイドに従って、前進、後退、ブレーキの操作をする必要があります。



アドバイス

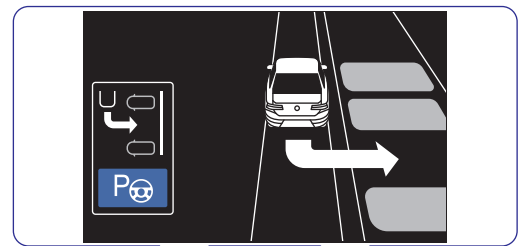
駐車支援システム “Park Assist” は、駐車スペースの駐車している車両を検知して駐車スペースを検知していません。車両が駐車していない駐車スペースでは本機能を使用することはできません。

誤った操作をすると、駐車支援システム “Park Assist” が終了します。終了した場合は操作手順の最初からやり直する必要があります。

駐車のしかた

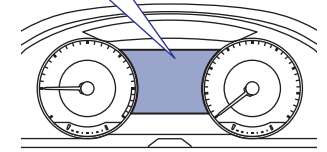
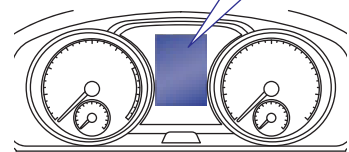
操作手順

- 1 希望する駐車スペースの少し手前で停車します。
- 2 Park Assist ボタンを押します。
- 3 駐車スペースが検知されるまで、ゆっくり前進します。車両が駐車スペースを検知すると、コンビネーションメーターのディスプレイに下記の図が表示されます。



アナログメーター

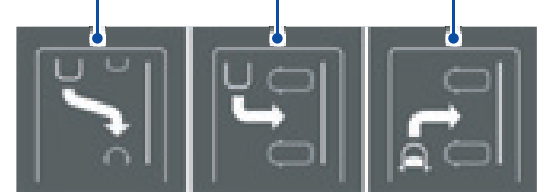
Active Info Display



QM6056

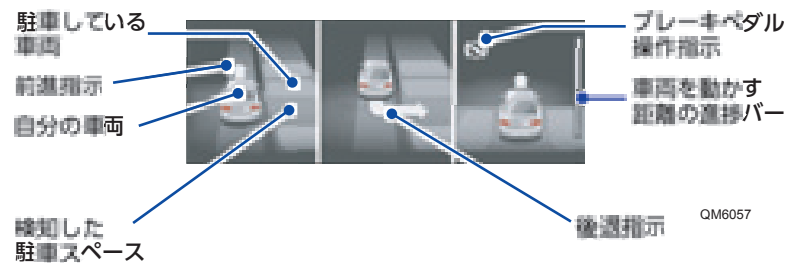
- 4 Park Assist ボタンを押して、希望する駐車方法を選択します。

後退して縦列駐車 後退して横列駐車 前進して横列駐車



QM4048

- 5 コンビネーションメーターのディスプレイに表示される操作指示に従って、周囲に注意しながらセレクトレバー、アクセルペダル、ブレーキペダルを操作します。このときステアリングは自動で操作されます。

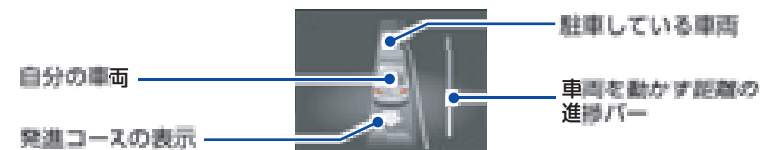


- 6 駐車が完了すると、コンビネーションメーターのディスプレイに「Park Assist 終了、ステアリングを操作して下さい!」と表示されます。

縦列駐車スペースからの発進のしかた

操作手順

- 1 Park Assist ボタンを押します。
- 2 発進する道路側に方向指示器を操作します。
- 3 コンビネーションメーターのディスプレイに表示される操作指示に従って、周囲に注意しながらセレクトレバー、アクセルペダル、ブレーキペダルを操作します。このときステアリングは自動で操作されます。



- 4 縦列駐車スペースから発進できる状態になると、コンビネーションメーターのディスプレイに「Park Assist 終了、ステアリングを操作して下さい!」と表示されます。

安全に関する警告や、システムの作動の詳細は、取扱説明書に記載されています。

フォルクスワーゲン車は、全車種／モデルにおいて日々開発が進められ、進化を遂げています。このため、各車両における装備、仕様、技術に関する内容について随時変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。本書での車両の装備、外観、性能、寸法、車重、消費電力、規格、機能に関する記述はすべて、編集時点での内容となります。一部、本書の発行時点では未導入となる仕様、または特定の国にのみ供給される仕様があります。このような理由による記載内容、図等の違いについては、あらかじめご了承ください。

本書の複製、コピー、翻訳は、その一部であっても、書面によるフォルクスワーゲングループ ジャパン 株式会社の承認がない限り許可されません。

すべての著作権はフォルクスワーゲングループ ジャパン 株式会社に帰属します。本書は予告なく改訂される場合があります。

Printed in Japan



本書は、無塩素漂白パルプを使用しています。

発行：2017年10月
印刷：2017年10月
発行番号：181.3G1.GTE.70